### ②-4 大口径ボーリングマシンエ

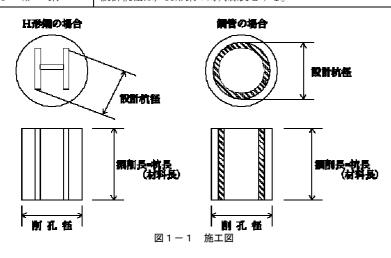
## 1. 適 用 範 囲

本資料は、大口径ボーリングマシンによる場所打杭工(山留工、地すべり抑止杭等)の施工に適用する。なお、適用範囲は、杭径190~510mm、掘削長35m以下とする。

現行

表 1. 1 設計杭径及び削孔径

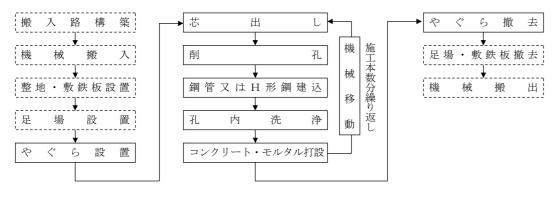
項目	設計	十杭径(㎜)	190~220	221~320	321~425	426~475	476~510
削孔径(mm)			250	350	450	500	550
鋼 管 設計杭径は、鋼管の外径とする。							
H 形 鋼 設計杭径は、H形鋼の対角線長とする。							



#### 2. 施 工 概 要

本工法は、大口径ボーリングマシンを使用して施工するもので、地盤を掘削し、鋼管杭又はH形鋼を建込み、中詰コンクリートの打設、外詰モルタルの注入等の一連作業で杭を形成するものである。

なお、本工法は土質・岩質に対する適用範囲が広く、使用するビットによって粘性土、レキ質土、岩等に対 応でき、孔壁の崩落保護を行いながら施工することを標準とする。



- (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
  - 2. 泥土の処理費が必要な場合は、別途計上する。

図2-1 施工フロー

### ②-4 大口径ボーリングマシンエ

#### 1. 適 用 範 囲

本資料は、大口径ボーリングマシンによる場所打杭工(山留工、地すべり抑止杭、基礎杭等)の施工に適用 まる

改定

摘要

適用範囲は、設計杭径190~510mm、掘削長35m以下とし、杭の頭出しを行う場合にも適用する。 なお、頭出しの長さは6m以下とする。

継杭は地中部のみとし、地上部の継杭は場所打杭工の対象としない。

#### 表 1. 1 設計杭径及び削孔径

項目	設計杭径(mm)	190以上226 未満	226以上276 未満	276以上326 未満	326以上376 未満	376以上426 未満	426以上510 以下
削	孔径(mm)	300	350	400	450	500	550
鋼 管 設計杭径は、鋼管の外径とする。							
Н	形 鋼	設計杭径は,	H形鋼の対角	線長とする。			

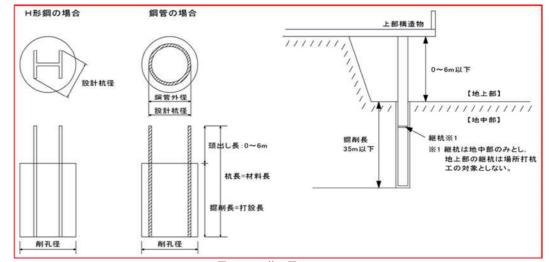
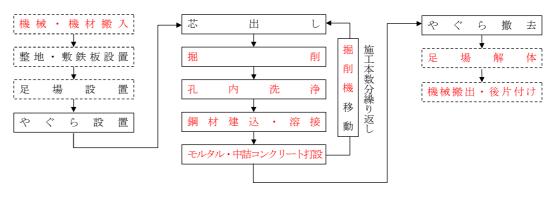


図1-1 施工図

#### 2. 施 工 概 要

本工法は、大口径ボーリングマシンを使用して施工するもので、地盤を掘削し、鋼管杭又はH形鋼を建込み、中詰コンクリートの打設、外詰モルタルの注入等の一連作業で杭を形成するものである。

なお、本工法は土質・岩質に対する適用範囲が広く、使用するビットによって粘性土、レキ質土、岩等に対応でき、孔壁の崩落保護を行いながら施工することを標準とする。



- (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
  - 2. 泥土の処理費が必要な場合は、別途計上する。

図2-1 施工フロー

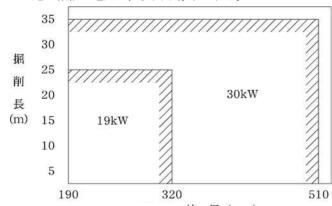
大口径 ボーリン グマシン 工

工種名

#### 3. 機種の選定

3-1 大口径ボーリングマシンの選定

施工機械の選定は、次図を標準とする。



19kW級の選定基準

杭 径:320mm未満

掘削長:25m以下

30kW級の選定基準

杭 径:320mm以上510mm以下

掘削長:35m以下

又は

杭 径:320mm未満 掘削長:25m超35m以下

杭 径 (mm)

(注) 現場条件により機械の搬入が困難で、これにより難い場合は別途考慮する。

図3-1 大口径ボーリングマシンの選定

現行

#### 3-2 補助機械の選定

鋼管、H形鋼の建込み、大口径ボーリングマシンの移動は付属のウインチで施工することを標準とするが、 下記現場及び作業条件により補助機械が必要な場合は、別途計上する。

現場及び作業条件

- ① 施工場所より10m以内に材料置場を設けることが出来ない場合。
- ② 民家、構造物、その他の施設等を破損又は、危険にさらす恐れがある場合。
- ③ 水路等の連続的な凸凹の障害により大口径ボーリングマシン付属ウインチによる施工が困難な場合。

表3.1 機種の選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘 要
資材等の現場内小運搬, 鋼管, H形鋼の建込み, 大口径ボーリングマシンの 移動	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 16 t 吊	台	1	必要に応じて計上する

- (注) 1. ラフテレーンクレーンは上表を標準とするが、現場条件により上表により難い場合は別途考慮する。
  - 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

#### 4. 編 成 人 員

大口径ボーリングマシンによる場所打杭工の編成人員は、次表を標準とする。

表4 1 編成人員

	表 4.	1 編成人員	(人)
職種	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
編成人員	1	2	2

(注) 継杭を施工する場合は、溶接工0.75人工計上する。

#### 5. 施 工 歩 掛

杭1本当り施工日数 (T。)

H形鋼杭の場合…… $T_c = T_1 + T_2 + T_3 + T_4$ 

T1: 杭1本当りの削孔日数(日/本)

T<sub>2</sub>: 杭1本当りの準備・建込み等日数(日/本)

T<sub>3</sub>: 杭1本当りの充填日数(日/本)

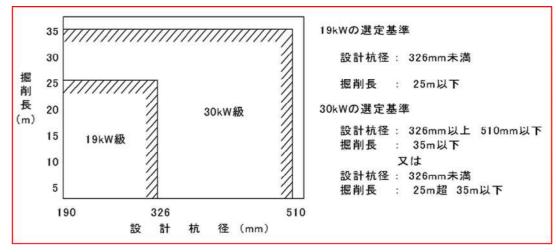
T4: 杭1本当りの溶接日数(日/本)

K<sub>1</sub>:鋼管板厚補正係数

#### 3. 機種の選定

3-1 大口径ボーリングマシンの選定

施工機械の選定は、次図を標準とする。



改定

摘要

(注) 現場条件により機械の搬入が困難で、これにより難い場合は別途考慮する。

図3-1 大口径ボーリングマシンの選定

#### 3-2 補助機械の選定

鋼管、日形鋼の建込み、大口径ボーリングマシンの移動は付属のウインチで施工することを標準とするが、 下記現場及び作業条件により補助機械が必要な場合は、別途計上する。

現場及び作業条件

- ① 施工場所より10m以内に材料置場を設けることが出来ない場合。
- ② 民家、構造物、その他の施設等を破損又は、危険にさらす恐れがある場合。
- ③ 水路等の連続的な凸凹の障害により大口径ボーリングマシン付属ウインチによる施工が困難な場合。

表3.1 機種の選定

作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要
資材等の現場内小運搬, 鋼管, H形鋼の建込み, <mark>溶 接,</mark> 大口径ボーリングマシ ンの移動	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 25 t 吊	台	1	必要に応じて計上する

- (注) 1. ラフテレーンクレーンは上表を標準とするが、現場条件により上表により難い場合は別途考慮する。
  - 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

#### 4. 編 成 人 員

大口径ボーリングマシンによる場所打杭工の編成人員は、次表を標準とする。

	衣 4.	1 編队人貝	
職種	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
編成人員	1	2	2

(注) 継杭を施工する場合は、溶接工0.75人工計上する。

#### 5. 施 エ 歩 掛

杭1本当り施工日数 (Ta)

T<sub>1</sub>: 杭1本当りの削孔日数(日/本)

T2: 杭1本当りの準備・建込み等, 充填日数 (日/本)

T<sub>3</sub>: 杭1本当りの溶接日数(日/本)

α:鋼管板厚補正係数

 工種名
 現行

 大口径
 (注) T4は継杭(※1立継溶接)を施工する場合に計上する。

 ボーリン
 なお,継杭(※2横継溶接)を施工する場合は、T。には計上せずに、別途計上とする。

 グマシン
 ※1立継溶接・・・・・・鋼材を大口径ボーリングマシンのウインチ等で建込みながら溶接する施工方法。

 エ
 ※2横継溶接・・・・・・現場内の溶接ヤードにて鋼材を横にして溶接する施工方法。

① 杭1本当りの削孔日数(T<sub>1</sub>)

表5. 1 土質毎の削孔日数(Ta)

(日/m)

土質・岩質 分類 ボーリングマシン	レキ質土 軟岩(I)	砂及び砂質土 粘性土	岩塊・玉石	軟岩(Ⅱ)	硬岩
19 <b>kW</b> 級	0. 15	0. 07	0. 24	0.34	0.44
30 <b>kW</b> 級	0. 15	0.07	0. 24	0. 34	0. 44

(注) 1. 土質毎の削孔日数(Ta)は、掘削する土質毎に次のとおり加算して算出する。

 $T_1 = T_{a1} \times L_1 + T_{a2} \times L_2 + T_{a3} \times L_3 + T_{a4} \times L_4 + \cdots$ 

T.m: 各土質毎の削孔日数(日/m)

L。: 各土質の削孔長(m)

- 2. T<sub>1</sub>は小数点第2位とし、小数点第3位を四捨五入する。
- (例) 大口径ボーリングマシン19kW級を使用してレキ質 $\pm 5$  m, 砂質 $\pm 0$  層10 mを施工した場合  $T_1$ =0.15 (日/m) ×5 (m) +0.07 (日/m) ×10 (m) =1.45
- ② 杭1本当りの準備・建込み等日数 (T<sub>2</sub>)

杭1本当りの準備(足場作り,1回目のビット取付,大口径ボーリングマシンの移動,芯出し),鋼管・ H形鋼建込、孔内洗浄、ロッド継足し・引抜きの施工日数は次表とする。

表5.2 杭種毎の準備・建込み等日数(T2)

(日/本)

 杭	種	杭長	9.0m以下	9. 1m∼18. 0m	18.1m∼27.0m	27.1m~35.0m
Н	形	鋼	0. 57	0.74	0. 90	1.07
鋼		管	0.60	0.76	0. 93	1. 10

- (注) 1. 機械の1回の移動距離3m以内を標準とし、ブロック間の移動は、別途考慮する。
  - 2. 足場作りとは、大口径ボーリングマシンの下に敷く足場材の敷設とし、全体の仮設足場は含まない。
  - 3. 削孔途中でのロッド引抜や挿入及びロッドの先端補修を含む。
  - 4. 補助機械の有無にかかわらず適用出来る。
- ③ 杭1本当りの充填日数 (T<sub>3</sub>)

杭1本当りのモルタル及び中詰コンクリート打設日数は、次表とする。

表 5. 3 H形鋼(モルタル杭)(T<sub>3</sub>)

(日/本)

杭長 杭径	9.0m以下	9.1m∼18.0m	18.1m~27.0m	27.1m~35.0m
190mm以上350mm未満	0.09	0. 15	0. 21	0. 27
350mm以上510mm以下	0. 16	0.31	0. 47	0.62

表 5. 4 鋼管 (モルタル・コンクリート杭) (T<sub>3</sub>)

(日/本)

杭長 杭径	9.0m以下	9.1m∼18.0m	18.1m~27.0m	27.1m~35.0m
190mm以上400mm未満	0. 10	0. 18	0. 23	0.30
400mm以上510mm以下	0. 14	0. 28	0. 42	0.60

- (注) 1. モルタル注入はグラウトポンプにより行い、注入パイプの取付け・取外しを含む時間である。
  - 2. 中詰コンクリートは、トラックミキサ等による打設時間とする。

(注) T<sub>3</sub>は継杭(※<sub>1</sub>立継溶接)を施工する場合に計上する。

なお、継杭(※2機械式継手)を施工する場合も適用出来るが、T3及び溶接工は計上せずに、費用等を、別途計上する。

改定

※<sub>1</sub>立継溶接・・・・・鋼材を大口径ボーリングマシンのウインチ等で建込みながら溶接する施工方法。 ※<sub>2</sub>機械式継手・・・・あらかじめ杭の上下端部に工場で溶接取付された継手部材を現地で自重等により 嵌合させる構造のもの。

杭1本当りの削孔日数(T<sub>1</sub>)

表5.1 土質毎の削孔日数(Ta)

(日/m)

摘要

土質・岩質 分類 ボーリングマシン	レキ質土 軟岩(I)	砂及び砂質土 粘性土	岩塊・玉石	軟岩(Ⅱ)	硬岩
19kW級	0. 15	0.07	0. 24	0.34	0.44
30 <b>kW</b> 級	0. 15	0.07	0. 24	0. 34	0. 44

(注) 1. 土質毎の削孔日数(Ta)は、掘削する土質毎に次のとおり加算して算出する。

 $T_{1} = T_{a1} \times L_{1} + T_{a2} \times L_{2} + T_{a3} \times L_{3} + T_{a4} \times L_{4} + \cdots$ 

T<sub>an</sub>: 各土質毎の削孔日数(日/m)

- L。: 各土質の削孔長(m)
- 2. T」は小数点第2位とし、小数点第3位を四捨五入する。
- (例) 大口径ボーリングマシン19kW級を使用してレキ質 $\pm 5$  m, 砂質 $\pm 0$ 層10mを施工した場合  $T_1$ =0.15 (日/m)  $\times 5$  (m) +0.07 (日/m)  $\times 10$  (m) =1.45
- ② 杭1本当りの準備・建込み等, 充填日数 (T<sub>2</sub>)

杭1本当りの準備(足場作り,1回目のビット取付,大口径ボーリングマシンの移動,芯出し),鋼管・H 形鋼建込,孔内洗浄,ロッド継足し・引抜き,モルタル及び中詰コンクリート打設の施工日数は次表とする。

表 5. 2 杭種毎の準備・建込み等, <mark>充填</mark>日数(T<sub>2</sub>)

(日/本)

掘削長(設計杭径 杭 種	m) (mm)			9. 0以下	9. 1~18. 0	18. 1~27. 0	27.1~35.0
11	TES.	ATT.	190以上326未満	0.62	0. 94	1. 24	1. 52
Н	形鋼	326以上510以下	0. 67	1.07	1. 45	1.81	
APP		丛	190以上326未満	0. 63	0. 94	1. 27	1. 57
鋼		管	326以上510以下	0.70	1. 09	1. 50	1. 88

- (注) 1. 機械の1回の移動距離3m以内を標準とし、ブロック間の移動は、別涂考慮する。
  - 2. 足場作りとは、大口径ボーリングマシンの下に敷く足場材の敷設とし、全体の仮設足場は含まない。
  - 3. 削孔途中でのロッド引抜や挿入及びロッドの先端補修を含む。
  - 4. 補助機械の有無にかかわらず適用出来る。
  - 5. モルタル注入はグラウトポンプにより行い、注入パイプの取付け・取外しを含む時間である。
  - 6. 中詰コンクリートは、トラックミキサ等による打設時間とする。

大口径 ボーリン グマシン エ

工種名

④ 杭1本当りの溶接日数 (T<sub>4</sub>)

表 5. 5 H形鋼(T<sub>4</sub>)

現行

(日/本)

H形鋼規格(mm) 溶接回数(標準) 杭長		150~175	200~250	300~350
L≦12m	0回	-	-	-
12m < L≦24m	1回	0.08	0. 20	0. 43
24m < L≦35m	2回	0. 16	0. 40	0.86

表 5. 6 鋼管(T<sub>4</sub>)

(日/本)

鋼管外径(mm) 溶接回数(標準) 杭長		190以上 300未満	300以上 400未満	400以上 500未満	500以上 510以下
L≦12m	0回	ı	-	ı	ı
12m < L≦24m	1回	0.08	0. 12	0. 15	0. 18
24m < L≦35m	2回	0. 16	0.24	0.30	0.36

なお、現場条件により溶接回数(標準)により難い場合は、表5.7より1回当りの溶接日数を加減する。

表 5.7 1回当りの溶接日数

(日/回)

H形鋼規格(mm)	1回当り溶接日数
150~175	0.08
200~250	0.20
300~350	0.43

鋼管外径(mm)	1回当り溶接日数
190以上300未満	0.08
300以上400未満	0. 12
400以上500未満	0. 15
500以上510以下	0.18

(例1) 鋼管外径190mm杭長30m 溶接回数が3回の場合(標準2回)

0.16(日/本・標準)+0.08(日/回・1回当り)=0.24(日/本)

(例2) 鋼管外径190mm杭長9m 溶接回数が1回の場合(標準0回)

0 (日/本・標準) +0.08 (日/回・1回当り) =0.08 (日/本)

#### ⑤ 鋼管板厚補正係数(K<sub>1</sub>)

表 5.8 鋼管板厚補正係数 (K<sub>1</sub>)

板厚 (㎜)	~15	16~20	21~25	26~30
係数	1.00	1.60	2. 15	2.86

(注) 板厚30mmを超えるものについては、別途考慮する。

#### 6. 杭1本当りモルタル及びコンクリート使用量

杭1本当りモルタル及びコンクリート使用量は、次式とする。 ただし、H形鋼を使用する場合はモルタル杭を標準とする。

6-1 モルタルを使用する場合

 $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times \ell \times (1 + K_2 \mathbf{Z} k \mathbf{K}_3) \quad (m^3/\mathbf{4})$ 

D:鋼管の場合は, 杭径 (m)

H形鋼の場合は、削孔径 (m)

0:打設長 (m)

K2又はK3:モルタルロス率

3 杭1本当りの溶接日数(T<sub>3</sub>)

表 5. 3 H 形鋼 (T<sub>3</sub>)

改定

(日/本)

摘要

H形鋼規格(㎜) 溶接回数(標準) 杭長		150~175	200~250	300~350
L≦12m	0回	-	-	_
12m < L≦24m	1回	0.08	0. 20	0. 43
24m <l≦35m< td=""><td>2回</td><td>0. 16</td><td>0.40</td><td>0.86</td></l≦35m<>	2回	0. 16	0.40	0.86

表 5. 4 鋼管(T<sub>3</sub>)

(日/本)

鋼管外径(mm) 溶接回数(標準) 杭長		190以上 300未満	300以上 400未満	400以上 500未満	500以上 510以下
L≦12m	0回	-	-	-	-
12m < L≦24m	1回	0.08	0. 12	0. 15	0. 18
24m <l≦35m< td=""><td>2回</td><td>0. 16</td><td>0. 24</td><td>0.30</td><td>0. 36</td></l≦35m<>	2回	0. 16	0. 24	0.30	0. 36

なお、現場条件により溶接回数(標準)により難い場合は、表5.5より1回当りの溶接日数を加減する。

表 5. 5 1回当りの溶接日数

(日/回)

H形鋼規格(mm)	1回当り溶接日数
150~175	0.08
200~250	0.20
300~350	0. 43

77112 - 22	( - / /
鋼管外径(mm)	1回当り溶接日数
190以上300未満	0.08
300以上400未満	0. 12
400以上500未満	0. 15
500以上510以下	0. 18

(例1) 鋼管外径190mm杭長30m 溶接回数が3回の場合(標準2回)

0.16 (日/本・標準) +0.08 (日/回・1回当り) =0.24 (日/本)

(例2) 鋼管外径190mm杭長9m 溶接回数が1回の場合(標準0回)

0 (日/本・標準) +0.08 (日/回・1回当り) =0.08 (日/本)

#### ④ 鋼管板厚補正係数 (α)

表 5. 6 鋼管板厚補正係数 (α)

板厚 (mm)	~15	16~20	21~25	26~30
係数	1.00	1.60	2. 15	2. 86

(注) 板厚30mmを超えるものについては、別途考慮する。

#### 6. 杭1本当りモルタル及びコンクリート使用量

杭1本当りモルタル及びコンクリート使用量は、次式とする。 ただし、H形鋼を使用する場合はモルタル杭を標準とする。

6-1 モルタルを使用する場合

 $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times \ell \times (1 + K_1) \quad (m^3 / 4\pi)$ 

D: <mark>削孔径</mark> (m) ℓ: 打設長 (m) K<sub>1</sub>: モルタルロス率

杭径 (㎜)	190~250	251~425	426~510
$K_2$	+0.6	+0.5	+0.2

表 6. 1 モルタルロス率 (鋼管の場合) (K<sub>2</sub>)

(注) ロス率には、地山との空隙充填分のモルタルを含む。

#### 表 6. 2 モルタルロス率 (H形鋼の場合) (K<sub>3</sub>)

$K_3$	+0.1

6-2 コンクリート(生コン)を使用する場合

 $Q_1 = \frac{\pi}{4} \times (D_1^2 - D^2) \times \ell \times (1 + K_4) \quad (m^3/4)$ 

 $Q_2 = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times \ell \times (1 + K_5) \quad (m^3/4)$ 

Q1: モルタル使用量 (m3/本)

Q2: 中詰コンクリート使用量 (m3/本)

D: 杭径(m)
D₁: 削孔径(m)
ℓ: 打設長(m)
K₄: モルタルロス率
K₅: 中詰コンクリートロス率

表 6.3 モルタルロス率 (K<sub>4</sub>)

$K_4$	+0.3

表 6. 4 中詰コンクリートロス率 (K<sub>5</sub>)

$K_5$	+0.02

#### 7. やぐらの設置・撤去

やぐらの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。ただし、搬入搬出時及びやぐらを解体しなければ移動出来 ない場合に計上する。

なお、やぐらの設置・撤去に伴う経費は、直接工事費に計上するものとする。

表7. 1 やぐらの設置・撤去歩掛(ラフテレーンクレーン使用の場合) (1基1回当り)

	名		称		単 位	数量	摘要
土	木 一	般	世 話	役	人	1. 0	
٤		び		工	"	1. 0	
特	殊	作	業	員	"	2. 0	
普	通	作	業	員	"	2. 0	
ラン	ラフテレーンクレーン運転				日	1. 0	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値)16 t 吊

- (注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。
  - 2. ラフテレーンクレーンは、上表を標準とするが、現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。

表 6. 1 モルタルロス率 (鋼管・H 形鋼の場合) (K<sub>1</sub>)

摘要

K<sub>1</sub> +0.1

6-2 コンクリート (生コン) を使用する場合

 $Q_1 = \frac{\pi}{4} \times (D_1^2 - D^2) \times \ell \times (1 + K_2) \quad (m^3 / 4)$ 

 $Q_2 = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times \ell \times (1 + K_3) \quad (m^3/4)$ 

Q<sub>1</sub>: モルタル使用量 (m<sup>3</sup>/本)

Q2: 中詰コンクリート使用量 (m3/本)

D : 設計杭径 (m)

D<sub>1</sub>:削孔径 (m) ℓ:打設長 (m)

K<sub>2</sub>: モルタルロス率

K<sub>3</sub>: 中詰コンクリートロス率

表 6. 2 モルタルロス率 (K<sub>2</sub>)

K <sub>2</sub>	+0.1

表 6. 3 中詰コンクリートロス率 (K<sub>3</sub>)

	1 88	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
K <sub>3</sub>		+0.02

#### 7. やぐらの設置・撤去

やぐらの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。ただし、搬入搬出時及びやぐらを解体しなければ移動出来 ない場合に計上する。

表7. 1 やぐらの設置・撤去歩掛(ラフテレーンクレーン使用の場合) (1基1回当り)

	名		称		単 位	数量	摘要
土	木 一	般	世部	行役	人	1. 0	
٤		び		I	"	1. 0	
特	殊	作	業	員	"	2. 0	
普	通	作	業	員	"	2. 0	
ラ:	フテレー	ンク	レーン	運転	目	1. 0	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値)25 t 吊

- (注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。
  - 2. ラフテレーンクレーンは、上表を標準とするが、現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。

#### 表7. 2 やぐらの設置・撤去歩掛(索道使用の場合)

現行

(1基1回当り)

名 称	単 位	数量	摘   要
土木一般世話役	人	1.0	
と び エ	"	3. 0	
特殊作業員	"	2. 5	
普通作業員	"	3. 5	
ウインチ運転	日	1.5	開放型(電動)・単胴・巻上能力2.8 t ×30m/min 巻取容量 φ 22×200m
発動発電機運転	IJ.	1. 5	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 75 kVA(19kW級用) 100 kVA(30kW級用)

- (注) 1. 発動発電機は、賃料とする。
  - 2. 索道の設置・撤去が必要な場合は、別途計上する。

#### 8. ビット等損耗費

ビット等損耗費は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であり、労務費、材料 費、機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

なお、ビット等損耗費については、杭1本当りで算出する。

表8.1 ビット等損耗費率(P)

(1m当り損耗費率)

抗径(mm)	砂質土 粘性土	レキ質土 軟岩 (I)	軟岩(Ⅱ)	硬 岩	岩 塊 玉 石
190~220		14	%		24%
221~320	16%		62%		
321~425	14%				
426~475	9%	35% 45%			80%
476~510	7%				

(注) 1. ビット等損耗費率は、掘削する土質毎に損耗費率を加重平均して算出する。

損耗費率 
$$P = \frac{P_1 \times L_1 + P_2 \times L_2 \cdots}{L_1 + L_2 \cdots}$$

ここで、P<sub>n</sub>: 各土質毎のビット等損耗費率

L<sub>n</sub>: 各土質の掘削長 (m)

- 2. Pは整数とし、小数点第1位を四捨五入する。
- (例) 杭径350mm, 砂質土2m, レキ質土15m, 岩塊・玉石3mの場合

$$P = \frac{14\% \times 2 \text{ m} + 35\% \times 15 \text{m} + 80\% \times 3 \text{ m}}{2 \text{ m} + 15 \text{m} + 3 \text{ m}} = 39.6 \dots = 40\%$$

#### 9. 諸 雑 費

諸雑費は、大口径ボーリングマシンの足場材、溶接機及び溶接棒、注入管、やぐら及び水槽損料、グラウトポンプ (試錐ポンプ)、サンドポンプ、ベントナイトミキサ、グラウトポンプ (モルタル圧送用)、グラウトミキサ、マッドスクリーン、給水ポンプの損料及び燃料費、ベントナイトの材料費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 9. 1 諸雑費率 (%) 諸 雑 費 率 23

- (注) 1. 傾斜地等で仮設足場が必要な場合は、別途計上する。
  - 2. 補助機械賃料、やぐらの設置・撤去及び仮設足場の設置・撤去の費用は、諸雑費対象額としない。

改定

(1 其1 回当り)

摘要

	10 / . 2	にくらい記	世 版名少は(米足区用の物目) (1至1回ヨッ)
名 称	単 位	数量	摘要
土木一般世話役	人	1.0	
と び エ	"	3.0	
特殊作業員	"	2.5	
普通作業員	"	3. 5	
ウインチ運転	日	1.5	開放型(電動)・単胴・巻上能力2.8 t ×30m/min 巻取容量 φ 22×200m
発動発電機運転	"	1.5	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 75 kVA (19kW級用) 100 kVA (30kW級用)

ま7 2 わぐこの記署・拗土張掛(麦道庙田の提合)

- (注) 1. 発動発電機は、賃料とする。
- 2. 索道の設置・撤去が必要な場合は、別途計上する。

#### 8. ビット等損耗費

ビット等損耗費は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であり、<mark>労務費、機械損料</mark>の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

なお、ビット等損耗費については、杭1本当りで算出する。

表8.1 ビット等損耗費率(P)

(1m当り損耗費率)

設計杭径(mm)	土質	砂質土 粘性土	レキ質土 軟岩 (I)	軟岩(Ⅱ)	硬 岩	岩 塊 玉 石	
190以上226未満		15%		18%		30%	
226以上276未満				30%		60%	
276以上326未満		20%			000/		
326以上376未満				90%			
376以上426未満		25%		150%			
426以上510以下		40 %o		80%			

(注) 1. ビット等損耗費率は、掘削する土質毎に損耗費率を加重平均して算出する。

損耗費率
$$P = \frac{P_1 \times L_1 + P_2 \times L_2 \cdots}{L_1 + L_2 \cdots}$$

ここで、P<sub>n</sub>:各土質毎のビット等損耗費率

L。: 各土質の掘削長 (m)

- 2. Pは整数とし、小数点第1位を四捨五入する。
- (例) 設計杭径350mm, 砂質土2m, レキ質土15m, 岩塊・玉石3mの場合

$$P = \frac{20\% \times 2 \text{ m} + 45\% \times 15 \text{m} + 90\% \times 3 \text{ m}}{2 \text{ m} + 1 \text{ 5 m} + 3 \text{ m}} = 49.3 \dots = 49\%$$

3. 補助機械賃料、やぐらの設置・撤去及び仮設足場の設置・撤去費用は、ビット損耗費対象額としない。

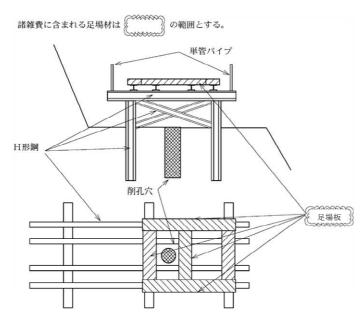
#### 9. 諸 雑 費

諸雑費は、大口径ボーリングマシンの足場材、溶接機及び溶接棒、注入管、やぐら及び水槽損料、グラウトポンプ (試錐ポンプ)、サンドポンプ、ベントナイトミキサ、グラウトポンプ (モルタル圧送用)、グラウトミキサ、サイクローンスクリーン、給水ポンプの損料及び燃料費、ベントナイトの材料費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。



- (注) 1. 傾斜地等で仮設足場が必要な場合は、別途計上する。
  - 2. 補助機械賃料,やぐらの設置・撤去及び仮設足場の設置・撤去の費用,ビット等損耗費は、諸雑費対象額としない。

(足場概念図)



(注) 足場については、主部材(H形鋼等)の組立及び損料等は含まず、大口 径ボーリングマシンの足場材である。

足場については,作業する現場条件及び機械及び材料等の重量を考慮 し,適正に構造を検討する。

図9-1 足場概念図

### 10. 泥水 (ベントナイト) の処理費

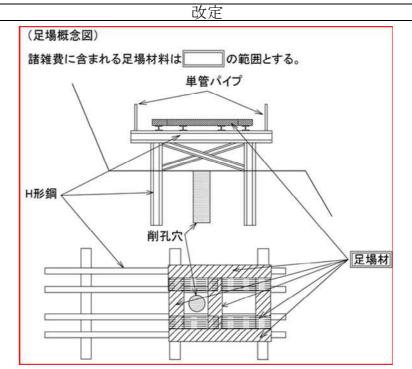
泥水処理等の費用については、別途計上するものとする。

### 11. 単 価 表

(1) 大口径ボーリングマシンによる場所打杭1本当り単価表

1									
		名		称		規格	単 位	数量	摘要
	土	木 一	般	世 話	役		人	$Tc \times 1$	表4.1
	特	殊	作	業	員		"	Tc×2	II
	普	通	作	業	員		IJ	Tc×2	II
	溶		接		エ		"	$T_4 \times 0.75$	継杭の場合に計上 鋼管の場合は(注)2による
	中	詰		材	料		$m^3$		モルタル・コンクリート
	鋼	管 •	Н	形 鋼	等		kg		
	大口	1径ボー!	リンク	ヷマシンĭ	運転		目	$T_1 + T_2$	機械損料
	ラ	フテレ	ーン	クレー	- ン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 16 t 吊	JJ	$T_2$	必要に応じて計上 機械賃料
	ビ	ット	等	損 耗	費		式	1	表8.1
	諸		雑		費		IJ	1	表9.1
			計						

- (注) 1. 泥土処理費が必要な場合は、別途計上とする。
  - 2. 鋼管における数量については、「 $T_4 \times K_1 \times 0.75$ 」とする。



摘要

(注) 足場については、主部材 (H形鋼等) の組立及び損料等は含まず、大口 径ボーリングマシンの足場材である。

足場については、作業する現場条件及び機械及び材料等の重量を考慮 し、適正に構造を検討する。

### 図9-1 足場概念図

### 10. 泥水 (ベントナイト) の処理費

泥水処理等の費用については、別途計上するものとする。

#### 11. 単 価 表

(1) 大口径ボーリングマシンによる場所打杭1本当り単価表

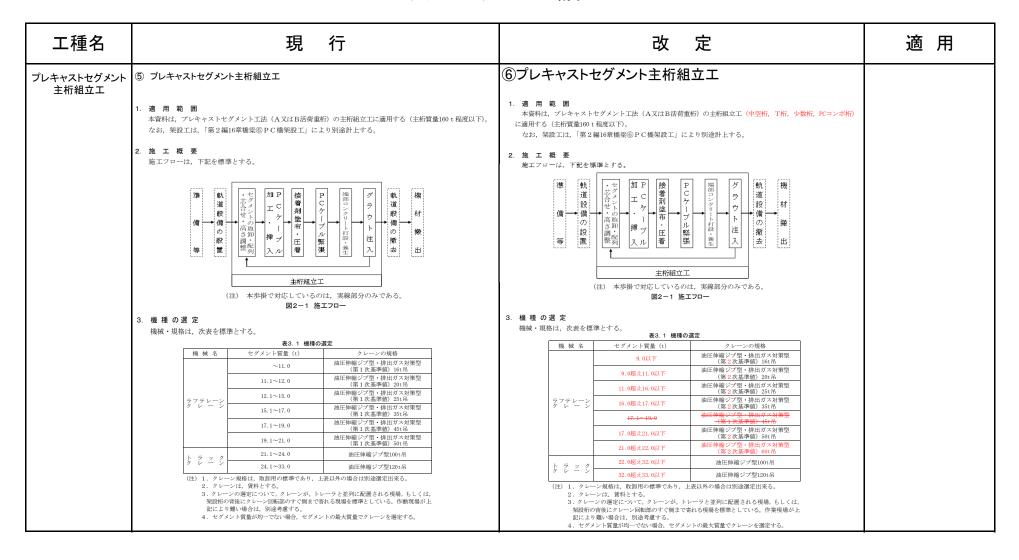
	名		称		規格	単 位	数量	摘要
土	木 一	般	世言	舌 役		人	Tc×1	表4.1
特	殊	作	業	員		"	Tc×2	"
普	通	作	業	員		"	Tc×2	11
溶		接		工		"	T <sub>3</sub> ×0.75	継杭の場合に計上 鋼管の場合は(注)2によ る
中	詰		材	料		$m^3$		モルタル・コンクリー ト
鋼	管 •	Н	形鱼	鋼 等		kg		
大	コ径ボー!	リンク	ブマシン	/運転		目	$T_1 + T_2$	機械損料
ラ	フテレ	ーン	クレ	ーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) <mark>25</mark> t 吊	II	$T_2 + T_3$	必要に応じて計上 機械賃料
ビ	ット	等	損	毛費		式	1	表8.1
諸		雑		費		"	1	表9.1
		計						

- (注) 1. 泥土処理費が必要な場合は、別途計上とする。
  - 2. 鋼管における数量については、「 $T_3 \times \alpha \times 0.75$ 」とする。
  - 3. 継杭に機械式継手を施工する場合は、 $T_3$ 及び溶接工は計上せずに、費用等を別途計上する。

## 土木工事標準歩掛の改定 場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)

(2) ぬぐらの設置,	現行									改定							
// イトりの放画	・撤去単価表(ラフテレーンク	レーン使用	月の場合)	(1	基1回当り)	(2)	やぐら	の設置・捕	敬去単価表(ラ	フテレーンクレ	ーン使用の	場合)	(1基	基1回当り)			
名 称	規格	単 位	数量	摘	要		名	称	規	格	単 位	数量	摘	要			
上 木 一 般 世 話 役		人		表7.1		土 オ	一 般	世話役			人		表7.1				
びエ		"		"		٤	び	工			"		"				
特 殊 作 業 員		n,		"		特	殊 作	業員			"		"				
普 通 作 業 員		"		"		普	通作	業員			"		"				
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 16 t 吊	F		表7.1 機械賃料		ラフ	テレーン	クレーン	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策 25 t 吊	型· 型(第3次基準値	) 🗏		表7.1 機械賃料				
· 推 費		式	1			諸	雑	費	<u> </u>		式	1					
—————————————————————————————————————							計		1								
<ul><li>3) やぐらの設置・</li><li>名 称</li></ul>	撤去単価表(索道使用の場合 規 格		数量	(1) 摘	<u>基</u> 1回当り) 要	(3)	やぐら	の設置・ 称	撤去単価表(類別の表)を表現します。	索道使用の場合)  格		数量	(1 <u>3</u> 摘	基1回当り) 要			
· 一般世話役	+	人		表7.2		土力		世話役		***	人		表7.2				
:		"		II.		٤	び	I			"		11				
· · 殊 作 業 員		"		II.			殊 作	業員			"		11				
连 通 作 業 員	+	"		II.				業員			"		11				
ウインチ運転	開放型(電動)・単胴・	B		表7.2 機械損料					開放型(電動) 巻上能力2.8 t 巻取容量 $\phi$ 222	×30m/min	B		表7.2 機械損料				
	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値)	II.		表7.2 機械賃料		発動	か発 電	機運転	ディーゼルエン 排出ガス対策型 75 kVA(19k 100 kVA(30k	!(第1次基準値) W級用)	11		表7.2 機械賃料				
動発電機運転	75 kVA(19kW級用)					=+/		費		4/2/14/	+	1					
	75 kVA(19kW級用) 100 kVA(30kW級用)	式	1			諸	雑	Į.			式						
	75 kVA(19kW級用) 100 kVA(30kW級用)	式	1			苗	計				IX.						
諸 雑 費 計 (4) 機械運転単価表	75 kVA(19kW級用) 100 kVA(30kW級用)			指定事	項	(4)	計機械運	転単価表		松		- -	指定事	項			
諸 雑 費 計 (4)機械運転単価表 機 械 名	75 kVA(19kW級用) 100 kVA(30kW級用) 規格	適用単価額	表	指 定 事 #聞→6.0h/日		(4)	計機械運			格	適用単価系	- To	指定事	項			
計(4) 機械運転単価表	75 kVA (19kW級用) 100 kVA (30kW級用) 規格 図3-1 開放型(電動)・単胴・		表	指 定 事 特間→6.0h/日		(4)	機械追機	転単価表	規 図3-1				指 定 事 1.3				
諸 雑 費 計 (4) 機械運転単価表 機 械 名 大口径ボーリングマシン	75 kVA (19kW級用) 100 kVA (30kW級用)  規 格 図3-1  開放型(電動)・単胴・ 巻上能力2.8 t × 30m/min 巻取容量 φ 22×200m ディーゼルエンジン駆動・ ####################################	適用単価3機-14	表 運転 <sup>1</sup> 燃料			(4)	機械追機	転単価表 名 ングマシン	規	・単胴・ :×30m/min ×200m	適用単価素	機械指機械指		33			

## 土木工事標準歩掛の改定 プレキャストセグメント主桁組立工



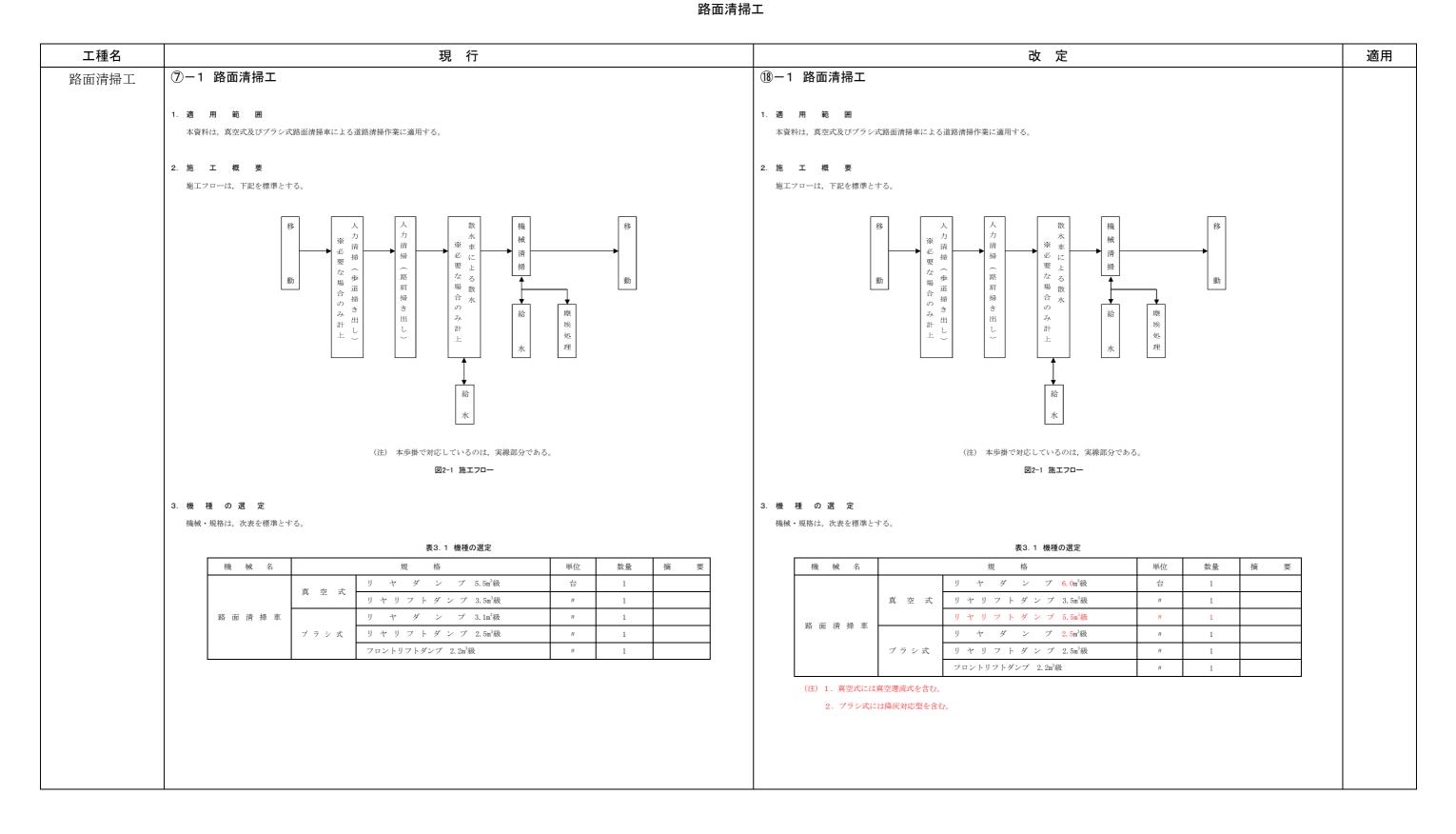
# 土木工事標準歩掛の改定 プレキャストセグメント主桁組立工

工種名	現 行	改定	適用
プレキャストセグメント主桁組立工	4. 施 エ 歩 掛 4-1 プレキャストセグメント主桁組立工とはフロー図の示寸通り、セグメントの取割から緊張、グラウト注入までのプレキャストセグメント主桁組立工とはフロー図の示寸通り、歩掛は次表を標準とする。	4. 施 エ 多 掛 4-1 プレキャストセグメント主桁組立工 プレキャストセグメント主桁組立工とはフロー図の示す通り、セグメントの設卸から緊張、グラウト注入までのプレキャストセグメント主桁組立工と地の作家であり、歩掛は次表を標準とする。 表4.1 プレキャストセグシン生析組立工参数	

# 土木工事標準歩掛の改定 プレキャストセグメント主桁組立工

工種名	現 行	改定	適用
プレキャストセグメント主桁組立工	(1 工事当り)	(1.1 本当り) 機械 経 費 表6.1 機械器具 (1.1 本当り) 機械 名 規格 契 単位 供用日数 摘 要 タ レ ー ン 各 種 1 台 ※B' 類 要 2 組 B (注) 1. 供用日数 (注) 1. 供用日数 (注) 1. 供用日数 (注) 1. 供用日数 (注) 2. タレーンの供用日数の欄 (※B) は運転日数であり。B'=析本数×1.1とする。 3. タレーンの供用日数の欄 (※B) は運転日数であり。B'=析本数×1.1とする。 4. 供用日数 (B, B) は、整数止めとし、少数第1位を関格五入する。  7. 内訳書及び単価表 (1) 析1本当り単価表 (1) 析 1本当り単価表 (1) 析 1本当り単価表 (1) 析 1本当り単価表 (2) 供加 (2) 供加 (3) は (2) は (2) は (2) は (3) は (3) は (4) は (4) は (4) は (5) は (4) は (5) は (6)	

# 土木工事標準歩掛の改定



## 土木工事標準歩掛の改定

## 路面清掃工

		現 行		改定							
面清掃工	4. 組 合 せ機 械			4. 組 合 せ機 械							
	(1) フロントリフトダンプ及びリヤリフトダンプ式は,	ダンプトラック(オンロード・ディーゼル4 t 積級	) の組合せを標準とし、ダンプトラックの運転時間は、	§ (1)フロントリフトダンブ及びリヤリフトダンプ式は、ダンプトラック(オンロード・ディーゼル4 t 積級)の組合せを標準とし、ダンプトラックの運転時間は、路							
	面清掃車と同一とすることを標準とする。			面清掃車と同一とすることを標準とする。							
	(2) 散水車は、清掃車の散水能力、給水条件等により必	要な場合は、別途計上することが出来る。なお、運	転時間は、路面清掃車と同一とすることを標準とする。	(2) 散水車は、清掃車の散水能力、給水条件等により	必要な場合は、別途計上することが出来る。なお、運	転時間は、路面清掃車と同一とすることを標準とする。					
	(3) 粗大塵埃の量が多く、別途収集が必要な場合は、別	途計上する。		(3) 粗大塵埃の量が多く、別途収集が必要な場合は、別途計上する。							
	(4) 組合せ機械を貸与機械とする場合は、官保有の規格	により積算する。		(4) 組合せ機械を貸与機械とする場合は、官保有の規	格により積算する。						
	5. 路面清掃作業歩掛			5. 路面清掃作業歩掛							
	路面の清掃にかかる事前の路肩掃き出し作業として、「	格面清掃車1台に対して以下の人員を計上する事を <sup>核</sup>	標準とする。	路面の清掃にかかる事前の路肩掃き出し作業として、	路面清掃車1台に対して以下の人員を計上する事を	票準とする。					
		表5.1 路面清掃作業歩掛	(人/目)		表5. 1 路面清掃作業歩掛	(人/目)					
	名称	単位	数量	名称	単位	数量					
	土 木 一 般 世 話 役	Д	0.8	土木一般世話役	人	0.8					
	普 通 作 業 員	"	1. 2	工	, ,	1. 2					
	(注) 1. 上表には、組合せ機械の労務は含まな	L.				1. 2					
		*。 :理が必要な場合及び処分費が必要な場合は,別途計.	上する。	(注) 1. 上表には、組合せ機械の労務は含ま							
	3. 路面清掃車の運転労務は,「第2編11			2. 塵埃の処分費が必要な場合は、別途考慮する。							
	4 上表け 締固められた状能の土砂の抑	り起こし、粗大塵埃の除去、掃き残し処理、障害物	- の1八十分と 仁と 田 八 の 極 迷って ナ	3. 路面清掃車の運転労務は、「第2編1章一般事項①建設機械運転労務」による。							
	5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表 5. り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼な	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行		必要な場合は別途考慮する。 5. 歩道掃き出しの必要な場合は,表5	埃の除去、掃き残し処理、障害物の除去等を行う場合 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行						
		2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行		必要な場合は別途考慮する。	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。	作業を行う場合に適用するものとし、これによ					
		2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 る場合等)は別途考慮する。	作業を行う場合に適用するものとし,これによ	必要な場合は別途考慮する。 5. 歩道掃き出しの必要な場合は,表5 り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り)					
	り難い場合(歩道清掃、路肩清掃を兼ね	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り)	必要な場合は別途考慮する。 5. 歩道掃き出しの必要な場合は,表5 り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼 名 称	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼ね 名 称	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。 5. 歩道掃き出しの必要な場合は,表5 り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り)					
	り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼ね 名 称 普 通 作 業 員	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼ね 名 称 普 通 作 業 員 6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。 L ℓ	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員         6. 路面清掃車運転時間	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼ね 名 称 普 通 作 業 員 6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は,次式による。	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員         6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃, 路肩清掃を兼ね 名 称 普 通 作 業 員  6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は, 次式による。 $T! = \frac{L}{V} = \frac{0}{V}$	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員         6. 路面清掃車運転時間	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼ね 名 称 普 通 作 業 員 6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。 L 0 T <sup>1</sup> = - + V υ T <sup>1</sup> : 作業に必要な運転時間(通過,反転,アイ	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃、路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員         6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。         L ®	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼ね 名 称	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃、路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員         6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。         L を         T¹= - + -	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5. 2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼ね 名 称 普 通 作 業 員 6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。 L 0 T <sup>1</sup> = - + V υ T <sup>1</sup> : 作業に必要な運転時間(通過,反転,アイ	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員         6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。         T¹=	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5. 2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼ね 名 称	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員         6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。         T¹= - + - V υ         T¹ : 作業に必要な運転時間(通過、反転、ア	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5. 2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃, 路肩清掃を兼ね 名 称	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼 り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善 善	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5. 2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃, 路肩清掃を兼ね 名 称	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員         6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。         T¹=	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5. 2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃, 路肩清掃を兼ね 名 称	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼 り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼 善	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5. 2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					
	り難い場合(歩道清掃, 路肩清掃を兼ね 名 称	2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行る場合等)は別途考慮する。 表5.2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし、これによ (歩道 1 km当り) 数量	必要な場合は別途考慮する。         5. 歩道掃き出しの必要な場合は、表5り難い場合(歩道清掃,路肩清掃を兼         名 称         普 通 作 業 員         6. 路面清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。         T¹=	. 2の歩掛を計上する。ただし、路面清掃作業と並行 ねる場合等)は別途考慮する。 表5. 2 歩道掃き出し歩掛 単位 人	作業を行う場合に適用するものとし, これによ (歩道 1 km当り) 数量					

## 土木工事標準歩掛の改定 路面清掃工

#### 工種名 現 行 改 定 適用 路面清掃工 (1) 清掃延長 (L) (1) 清掃延長 (L) 清掃を実施する道路の延長であって、ブラシを回転させながら走行する区間は清掃延長とするが、清掃を必要としない部分で1箇所の延長が50m以上の区間が 清掃を実施する道路の延長であって、ブラシを回転させながら走行する区間は清掃延長とするが、清掃を必要としない部分で1箇所の延長が50m以上の区間が ある場合、その区間については移動距離とする。 ある場合、その区間については移動距離とする。 (2) 清掃速度 (V) (2) 清掃速度 (V) 機械毎の清掃速度は、次表を標準とする。 機械毎の清掃速度は、次表を標準とする。 表6.1 路面清掃車の清掃速度 表6.1 路面清掃車の清掃速度 (km/h) (km/h) 塵埃量 0.1m<sup>3</sup>/km以上 0.2m<sup>3</sup>/km以上 塵埃量 0.1m<sup>3</sup>/km以上 0.2m³/km以上 0.4m³/km未満 0.4m<sup>3</sup>/km以上 0.1m³/km未満 0.1m³/km未満 機種 0.2m³/km未満 1.0m<sup>3</sup>/km未満 0.2m<sup>3</sup>/km未満 真 式 6.3 4.0 式 4.4 2.0 5.0 3.3 3.9 2.6 (注) 1. 上表は、塵埃排出及び給水にかかわる時間を含んでいる。 (注) 1. 上表は、塵埃排出及び給水にかかわる時間を含んでいる。 2. 上記の塵埃量を超える場合又は清掃車が1回で塵埃を清掃できない場合は、別途考慮する。 2. 上記の塵埃量を超える場合又は清掃車が1回で塵埃を清掃できない場合は、別途考慮する。 (3)移動距離(0) (3) 移動距離(0) ①移動距離は、路面清掃車における次の区間の全走行距離をいう。 ①移動距離は、路面清掃車における次の区間の全走行距離をいう。 1) 現場と残土処理場の間 1) 現場と残土処理場の間 2) 現場と給水場所の間 2) 現場と給水場所の間 3) 現場と現場の間 (清掃を必要としない部分で1箇所の延長が50m以上の区間) 3) 現場と現場の間 (清掃を必要としない部分で1箇所の延長が50m以上の区間) 4) 基地と現場の間 4) 基地と現場の間 ②上記の移動距離 ( 🐧 の算出にあたっては、次の諸元を考慮して決定する。 ②上記の移動距離 ( 🐧 の算出にあたっては、次の諸元を考慮して決定する。 1) 清掃車1台のホッパ当り清掃延長 (△L) 1) 清掃車1台のホッパ当り清掃延長 (△L) $\triangle L = \frac{\piッパ容量 (m^3) \times \piッパ係数}{$ 塵埃量 $(m^3/km)$ (km) $\triangle$ L= $\frac{$ ホッパ容量 $(m^3) \times$ ホッパ係数 (km)塵埃量 (m³/km) 表6.2 ホッパ容量とホッパ係数 表6.2 ホッパ容量とホッパ係数 真 空 式 ブラシ式 真 空 式 ブラシ式 リャダンプ リヤリフトダンプ リャダンプ リヤリフトダンプ フロントリフトダンプ 種 リャダンプ リヤリフトダンプ リャダンプ リヤリフトダンプ フロントリフトダンプ 種 3.5m³級・5.5m³級 2.5m³級 6.0m<sup>3</sup>級 2.5m<sup>3</sup>級 2.2m³級 3.5m³級 3.1m³級 2.5m³級 2.2m³級 ホ ッ パ 係 数 0.51 0.52 0.74 0.60 0.55 ホッパ係数 0.55 0.50 0.55 0.61 0.48

# 土木工事標準歩掛の改定

### 路面清掃工

#### 工種名 現行 路面清掃工 2) 散水量 (Q) 機械毎の清掃に必要な散水量は、次表を標準とする。 表6.3 清掃延長1km当り散水量 ブ ラ シ 式 機種 真 空 式 リャダンプ リヤリフトダンプ リヤダンプ リヤリフトダンプ フロントリフトダンプ 5.5m³級 3.5m³級 3.1m³級 2.5m<sup>3</sup>級 2.2m<sup>3</sup>級 散水方法 清 掃 車 の み 散水車のみ 0.17 清 掃 車 0.04 0.06 散水車 散水車 0.05 0.09 (注) 散水方法は、現場条件、実情等を考慮して決定する。 ただし、散水方法及び散水量は標準であり、これにより難い場合は、別途考慮する。 (4) 移動速度 (v) 機械毎の移動速度は、次表を標準とする。 表6.4 移動速度 (km/h)真 空 式 ブラシ式 リャダンプ リャリフトダンプ リャダンプ リヤリフトダンプ フロントリフトダンプ 2.5m<sup>3</sup>級 5.5m<sup>3</sup>級 3.5m<sup>3</sup>級 3.1m³級 2.2m³級 移 動 速 度 30 20 (5) 燃料消費量 「第2編1章―般事項②原動機燃料消費量」による。 7. 諸 雑 費

じた金額を上限として計上する。

清掃車の保有区分

3. ブラシを官側から支給する場合の諸雑費率は,() 内を使用する。

諸雑費は,スコップ,ほうき及びブラシの損耗費(ブラシ交換労務を含む)等の費用であり,労務費,路面清掃車の機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗

表7.1 諸雑費率

(注) 1. 上表は散水車使用の有無にかかわらず適用し、散水車の保有区分が「官貸与」、「業者特込」のいずれにかかわらず適用する。

真 空 式

(3)

17

2. 上表はダンプトラック使用の有無にかかわらず適用し、ダンプトラックの保有区分が、「官貸与」、「業者持込」のいずれにかかわらず適用する。

2) 散水量 (Q)

機械毎の清掃に必要な散水量は、次表を標準とする。

表6.3 清掃延長1km当り散オ
------------------

改 定

(ma 3 /1mm)

(%)

適用

	機種	真	空 式		ブラシ式							
		リャダンプ	リヤリフトダンプ		リャダンプ	リヤリフトダンプ	フロントリフトダンプ					
散水方法		6.0m³級	3.5m³級	5.5m³級	2.5m³級	2.5m³級	2. 2m³級					
清 掃 車	E の み		0. 19			0. 07	_					
散水車	E の み		0. 17			0. 15	0. 17					
清掃車						0.05						
散水車	散水車		0. 10		0.08							

(注) 散水方法は、現場条件、実情等を考慮して決定する。

ただし、散水方法及び散水量は標準であり、これにより難い場合は、別途考慮する。

(4) 移動速度(v)

機械毎の移動速度は、次表を標準とする。

表6.4 移動速度 (km/h)

	真	空 式		ブラシ式						
機種	リヤダンプ	リヤリフ	トダンプ	リヤダンプ	リヤリフトダンプ	フロントリフトダンプ				
	6. 0m³級	3.5m³級	5.5m³級	2.5m³級	2.5m³級	2. 2m³級				
移 動 速 度			3	30		20				

(5) 燃料消費量

「第2編1章一般事項②原動機燃料消費量」による。

#### 7. 諸 雑 費

(%)

ブラシ式

(3)

諸雑費は、スコップ、ほうき及びブラシの損耗費(ブラシ交換労務を含む)等の費用であり、労務費、路面清掃車の機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗 じた金額を上限として計上する。

費率

	清掃車の保有区分		真 空 式	ブラシ式
官	貸	与	(3) 33	(4) 26
業	者 持	iλ	21	19

- (注) 1. 上表は散水車使用の有無にかかわらず適用し、散水車の保有区分が「官貸与」、「業者持込」のいずれにかかわらず適用する。
  - 2. 上表はダンプトラック使用の有無にかかわらず適用し、ダンプトラックの保有区分が、「官貸与」、「業者持込」のいずれにかかわらず適用する。
  - 3. ブラシを官側から支給する場合の諸雑費率は,() 内を使用する。

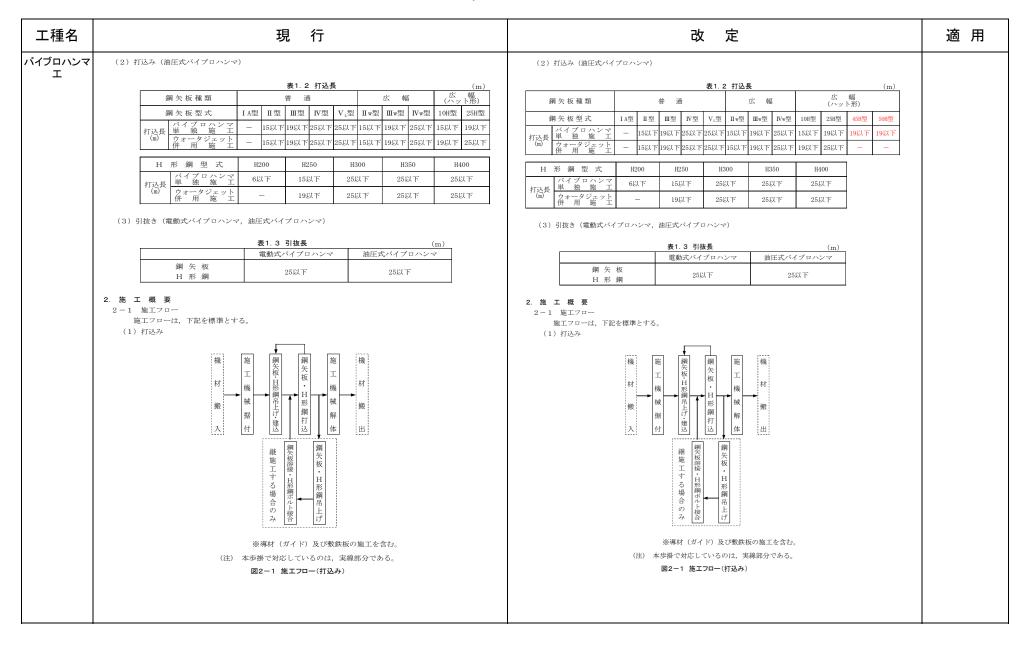
## 土木工事標準歩掛の改定 路面清掃工

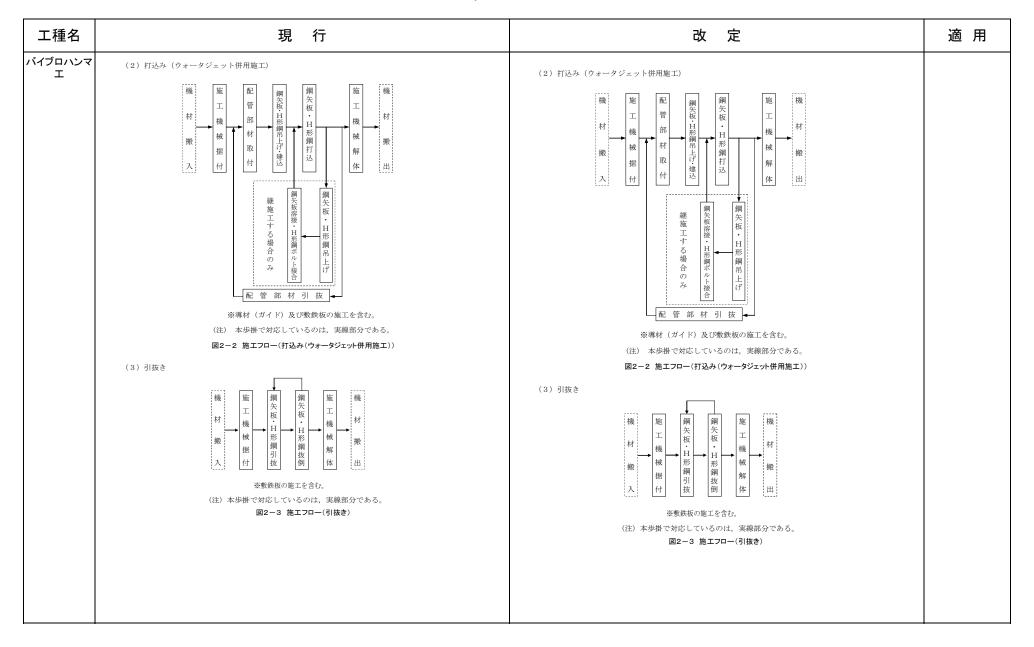
工種名		現行		改定							
面清掃工	8. 単 価 表			8. 単 価 表							
	(1) 路面清掃作業 1 km当り単価表			(1) 路面清掃作業 1 km当り単価表							
	名 称 規 格	単位 数量	摘要	名	称	規格	単位	数量	摘 要		
	土 木 一 般 世 話 役	人 0.8×T1/T	×1/L 表5.1	土 木 一	般 世 話 役		人	$0.8\times T_1/T\times 1/L$	表5.1		
	普 通 作 業 員	" 1.2×T1/T		普 通	作 業 員		II .	$1.2{\times}T_1/T{\times}1/L$			
	路面清掃車運転	h Tı/L	<b>恢恢</b> 担付	路 面 清	掃 車 運 転		h	Tı/L	単価表(3)又は(4) 機械損料		
	散 水 車 運 転	" T1/L	位(以1具个)	散水	車 運 転		II .	Tı/L	必要に応じて計上機械損料		
	ダンプトラック運転	" T1/L	必要に応じて計上 機械損料	ダンプト	ラック運転		II .	Tı/L	必要に応じて計上 機械損料		
	諸 雑 費	式 1	表7.1	描	雑 費		式	1	表7.1		
	計				計						
	<ul> <li>(注) T:路面清掃車運転日当り運転時間         ブラシ式フロントリフトダンプ2.2m³:6.7h         ブラシ式リヤダンプ,リヤリフトダンプ:7.6h         真空式リヤダンプ,リヤリフトダンプ:7.9h         T¹:作業に必要な運転時間(通過,反転,アイドリンL:清掃延長(km)</li> </ul>	/B /B		ブラ ブラ 真空 T <sup>1</sup> : 作業	・シ式リヤダンプ, リ・  式リヤダンプ, リヤ	トダンプ2.2m <sup>3</sup> :7.6h ヤリフトダンプ:6.8h, リフトダンプ:7.2h, 重過, 反転, アイドリン	/日	で) (h)			
	(2) 歩道掃き出し1km当り単価表			(2) 歩道掃き出し1km当り単価表							
	名 称 規 格	単位 数量	摘要	名	称	規 格	単位	数量	摘要		
	普 通 作 業 員	人 0.31	表5.2	普通	作 業 員		人	0.31	表5.2		
	諸 雑 費	式 1		諸	雑費		式	1			
	計				計						
	(3) 路面清掃車 (プラシ式フロントリフトダンプ2.2m³) 運転 1	時間当り単価表		(3) 路面清掃車 (ブラシ式フロントリフトダンプ2.2m³) 運転1時間当り単価表							
	名 称 規格	単位 数量	摘 要	名	称	規格	単位	数量	摘要		
	運転手(特殊)	人 1/T		運転手	( 特 殊 )		人	1/T			
	助 手 ( 普 通 作 業 員 )	0.15		助 手 ( 普	通作業員)		"	1/T			
	燃料費	0	「第2編1章一般事項 ②原動機燃料消費量」による	燃	料費		Q 又は m <sup>3</sup>		「第2編1章一般事項 ②原動機燃料消費量」による		
	路 面 清 掃 車 表8.1	h 1	機械損料	路面	清 掃 車		h	1	機械損料 表8.1		
	諸 雑 費	式 1		諸	雑 費		式	1			
	計				<del>1</del>						
	(注) T:路面清掃車 (ブラシ式フロントリフトダンプ) 運転	- 1 日当り運転時間 6.7h/日	'			・トリフトダンプ2. 2m³)	運転日当り運転	寺間 <b>7.</b> 6h/日			

## 土木工事標準歩掛の改定 路面清掃工

			現	行						改定			
(4) 路面清掃	車(ブラシ式,真空式)追	転1時間当り単価表				(4) 路面清掃車(ブラシ式、真空式)運転1時間当り単価表							
名 称 規 格 単位 数量 摘 要					名	称	規格	数量 摘 要		要			
運転	手 ( 一 般 )		人	1/T			運転手	( 一般)		Д	1/T		
助手	普通作業員)		II	0.13			助手(音	通作業員)		II .	1/T		
燃	料費		e e		「第2編1章一般事 ②原動機燃料消費		燃	料 費		Q 又は 3		「第2編1章一般事項 ②原動機燃料消費量」	こよる
	清 掃 車	表8.1	h	1	機械損料		nh	\+ 10 +-		m <sup>3</sup>			
- 諸	雑 費		式	1			諸	清 掃 車 		h 式	1	機械損料 表8.1	
()4) 50	計		-0\ \VII+- +- \le \V	CHARLES CO. / C			前日	計		A.	1		
		マダンプ, リヤリフトダン 「ンプ, リヤリフトダンプ					(注) 丁·败司		·ダンプ, リヤリフトダン	ノプ)運転日当り運転時	問 6.8 h / 日		
(5)機械運転					1		(5)機械運転単値	表					
	機械名    規格				適用単価表 指定事項			械 名	規格		適用単価表	指定事項	
散	散     水     車     全機種     機-6     散水車使用の場合に計上							水車	全機種	全機種 機-6		散水車使用の場合に計上	
ダン	プトラック	オンロード・ディー	ジル4t積級	機-7	ダンプトラック使用の	場合は上	ダンプ	トラック	オンロード・ディー	-ゼル4t積級	機-7	ダンプトラック使用の場合は	計上
	表8. 1 建設機械等損料 真空式				算定表対象規格表 ブラシ式			表8.1 建設機械等損料算定表対象規格表 真空式 ブラシ式					
	リヤダンプ	リヤリフトダン			リヤリフトダンプ	フロントリフト ダンプ		リヤ ダンプ	リヤ リフトダンプ	リヤ リフトダンプ	リヤ ダンプ	リヤ リフトダンプ	フロント リフトダンプ
路面清掃		3.5m <sup>3</sup> 級		3.1m <sup>3</sup> 級	2.5m³級	2.2m³級	路面清掃車	6.0m <sup>3</sup> 級	3.5m³級	5.5m <sup>3</sup> 級	2.5m³級	2.5m³級	2.2m³級
	真空・リアダン ホッパ容量 5.5m <sup>3</sup> ~6.5m <sup>3</sup>	プ式 真空・リアリフ ホッパ容量 3.5m <sup>3</sup>		ラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m³	ブラシ・三輪式 ホッパ容量 2.2m <sup>3</sup> 3輪式		真空・リヤダンプ式 ホッパ容量 5.5~6.5m³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 3.5m³	真空・リヤリフト式 ホッパ容量 5.5~6.1m³	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1㎡	ブラシ・四輪式 ホッパ容量 2.5~3.1m³	ブラシ・三輪式 ホッパ容量 2.2m³
<ul><li>(2) ダンプ</li><li>(3) 助手の</li><li>①機械</li></ul>	機械的経験、知識を有する トラック、散水車等には計 作業基準 こ関すること(整備点検、						<ul><li>(2) ダンプトラ</li><li>(3) 助手の作業</li><li>①機械に関</li></ul>	すること(整備点検、					

工種名	現 行	改定	適用				
バイブロハンマ エ	)-1 バイブロハンマエ						
	<ul> <li>お資料は、電動式パイプロハンマ、油圧式可変組高周波型パイプロハンマ (以下「油圧式パイプロハンマ」という)による鋼矢板・H形鋼の継端工を伴う打込み (ウォータジェット件用端工を含む) 及び引抜きの陸上施工及び水上施工に適用する。</li> <li>かお、陸上瓶工とは、フレーンを陸上に設置して行う施工のことで、次の形態が該当する。</li> <li>・身欠板・H形鋼の施工場所・陸上に次は大中部また、水上施工とは、クレーンを合船上に設置して行う施工のことである。</li> <li>緩塩工とは、クレーンを合船上に設置して行う施工のことである。</li> <li>緩塩工とは、クレーンを合船上に設置して行う施工のことである。</li> <li>緩塩工とは、クレーンを合船上に設置して行う施工のことである。</li> <li>緩塩工とは、クレーンを合船上に設置して行う施工のことである。</li> <li>緩増工における施工法は、次のとおりである。</li> <li>(網入板) 先行する網外板を打込み後、それに接続する網外板を鉛値に建込んだ状態で継手部を部をする方法。</li> <li>(日形鋼) 先行する網外板を打込み後、それに接続する開発板を鉛値に建込んだ状態で離手部をボルトにより接合する方法。</li> <li>編外板型式飾の打込長(引抜長)の適用範囲は、表1.1~表1.3を標準とし、これにより離い場合は、別途考慮する。</li> <li>(1) 打込み(電動式パイプロハンマ)</li> <li>養1 打込長</li> <li>第次板種類</li></ul>	1. 適 用 範 囲     本実料は、電動式パイプロハンマ、油圧式可変超高周波型パイプロハンマ(以下「油圧式パイプロハンマ」とい う)による網矢板・旧形線の継旋工を伴う打込み(ウォータジェット併用施工を含む)及び引接きの陸上施工及 び水上施工とは、クレーンを陸上に設置して行う施工のことで、次の形態が該当する。 ・クレーンの設理制所・陸上(民機上等を含む) ・網火板・旧形線の展生工法は、クレーンを台船上に設置して行う施工のことである。 機施工における施工法は、次のとおりである。 (網矢板) 先行する開発のを打込み後、それに接続する開矢板を鉛直に建込んだ状態で選手部を溶接する力法。 (旧形網) 先行する日形線を打込み後、それに接続する開矢板を鉛直に建込んだ状態で選手部を溶接する力法。 (旧形網) 先行する日形線を打込み後、それに接続する用が興を鉛直に建込んだ状態で選手部を溶接するが、 ・					





#### 工種名 現 行 改定 適用 バイブロハンマ 3. 施 工 歩 掛 3. 施 工 歩 掛 エ 3-1 機種の選定 3-1 機種の選定 (1) バイブロハンマの規格 (1) バイブロハンマの規格 鋼矢板、H形鋼の打込み、引抜きに使用するバイブロハンマの規格は、次表を標準とする。 鋼矢板、H形鋼の打込み、引抜きに使用するバイブロハンマの規格は、次表を標準とする。 なお、ハット形鋼矢板の打込みに使用するバイブロハンマは、フランジ把持式の専用チャック装備を標準 なお、ハット形鋼矢板の打込みに使用するバイブロハンマは、フランジ把持式の専用チャック装備を標準 とする。 とする。 1) 打込み(電動式バイブロハンマ) 1) 打込み (電動式バイブロハンマ) 90kW パイプロハンマ単独施工 90kW パイプロハンマ単独施工 90kW ウォータジェット併用施工 ウォータジェット併用施工 バイプロハンマ単独第二 ウォータジェット併用第二 パイプロハンマ単独施工 ウォータジェット併用施工 最大N值 最大N隹 図3-1 電動式バイブロハンマ 機種の選定範囲 図3-1 電動式バイブロハンマ 機種の選定範囲 表3.1 機種の選定(電動式バイブロハンマ) 表3.1 機種の選定(電動式バイブロハンマ) Τ. 方 法 バイブロハンマ単独施工 ウォータジェット併用施工 方 バイブロハンマ単独施工 ウォータジェット併用施工 Τ. 法 最 大 N 値 $50 \leq Nmax < 100$ Nmax < 50100≤Nmax≤180 大 N 値 Nmax < 5050≤Nmax<100 100≤Nmax≤180 電動式・普通型90kW 電動式・普通型 60kW 電動式・普通型 60kW 電動式・普通型90kW 15m以下 電動式・可変モーメント型 (ハット形鋼矢板用) 60kW 電動式・可変モーメント型 (ハット形鋼矢板用)90kW 電動式・可変モーメント型 電動式・可変モーメント型 15m以下 (ハット形鋼矢板用) 60kW (ハット形鋼矢板用) 90kV 打込長 打込長 電動式·普通型 90kW 電動式・普通型 90kW 25m以下 25m以下 電動式・可変モーメント型 (ハット形鋼矢板用) 90kW 電動式・可変モーメント型 (ハット形鋼矢板用) 90kW エンジン式・排出ガス対策型(第 1 次基準値) ポンプ圧力14.7MPa 吐出量3250 /min×2台 (14.7MPa 3250 /min×1台)(注)1 杭 打 ち 用 エンジン式・排出ガス対策型(第 1 次基準値) ポンプ圧力14.7MPa 吐出量3250 /min×2台 (14.7MPa 3250 /min×1台)(注)1 杭 打 ち 用 ウォータジェット ウォータジェット (注) 1. 杭打ち用ウォータジェットの()書きはNmax < 50で転石等によりやむを得ず杭打ち用 (注) 1. 杭打ち用ウォータジェットの( )書きはNmax < 50で転石等によりやむを得ず杭打ち用 ウォータジェットを使用する必要が生じた場合に計上する。 ウォータジェットを使用する必要が生じた場合に計上する。 2. 対象地盤の最大N値が、50を超えるものについては、式3. 1により換算N値を求めたうえ 2. 対象地盤の最大N値が、50を超えるものについては、式3. 1により換算N値を求めたうえ で適用する。 で適用する。 換算N値= 1,500 落下50回当り貫入量 (cm) ……式3. 1 3. 打込長は、地表面よりの鋼矢板及びH形鋼の打込長であり、鋼矢板長及びH形鋼長とは異な 3. 打込長は、地表面よりの鋼矢板及びH形鋼の打込長であり、鋼矢板長及びH形鋼長とは異な 2) 打込み(油圧式バイブロハンマ) 2) 打込み (油圧式バイブロハンマ) ŧΤ ₹X 15 224kW(235kW) パイプロハンマ単独施工 224kW(235kW) 235kW 長 パイプロハンマ単独施工 ウォータージェット併用施工 (m) (m) 180 最大N隹 100 ※()書きは、ハット形鋼矢板の場合。 最大 N 値 図3-2 油圧式バイブロハンマ 機種の選定範囲 図3-2 油圧式バイブロハンマ 機種の選定範囲

#### 工種名 現 行 改定 適用 バイブロハンマ 表3.2 機種の選定(油圧式バイブロハンマ) 表3 2 機種の選定(油圧式バイブロハンマ) エ 施工方法 バイプロハンマ単独施工 ウォータジェット併用施工 施工方法 バイブロハンマ単独施工 ウォータジェット併用施工 最大 N 値 Nma v < 50 50≤Nmax<100 100≤Nmax≤180 最 大 N 値 Nmax < 5050≤Nmax<100 100≤Nmax≤180 油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第1次基準値)224kW 打 込長 25m以下 打込長 25m以下 油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第2次基準値)235kW 油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型(第2次基準値)235kW(注)1 エンジン式・排出ガス対策型(第1次基準値) ポンプ圧力14,7MPa 吐出量3250 /min×2台 (14,7MPa 3250 /min×1台)(注)2 エンジン式・排出ガス対策型(第1次基準値) ポンプ圧力14.7MPa 吐出量3250 /min×2台 (14.7MPa 3250 /min×1台)(注)1 杭 打 ち 用 ウォータジェット 杭 打 ち 用 ウォータジェット (注) 1. 打込長() 書きは、ハット形鋼矢板の場合に選定する。 (注) 1. 杭打ち用ウォータジェットの() 書きは、Nmax < 50で転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する必要が生じた場合に計上する。 2. 杭打ち用ウォータジェットの()書きは、Nmax<50で転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する必要が生じた場合に計上する。 対象地盤の最大N値が、50を超えるものについては、式3. 1により換算N 値を求めたうえで適用する。 3. 対象地盤の最大N値が、50を超えるものについては、式3. 1により換算N 打込長は、地表面よりの鋼矢板及びH形鋼の打込長であり、鋼矢板長及びH 値を求めたうえで適用する。 4. 打込長は、地表面よりの鋼矢板及びH形鋼の打込長であり、鋼矢板長及びH 形鋼長とは異なる。 形鋼長とは異なる。 3) 引抜き 引抜作業に使用する機械・規格は、N値にかかわらず次表を標準とする。 引抜作業に使用する機械・規格は、N値にかかわらず次表を標準とする。 表3.3 引抜作業の機種の選定 表3.3 引抜作業の機種の選定 電動式バイブロハンマ 油圧式バイブロハンマ 電動式バイブロハンマ 油圧式バイブロハンマ 引抜長 規格 規 格 引抜長 規格 規格 油圧式・可変超高周波型 油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策型 電動式・普通型60kW ・排出ガス対策型 25m以下 25m以下 25m以下 電動式・普通型60kW 25m以下 H形鋼 (第2次基準値) 235kW (注) 1. 上表は, 広幅鋼矢板 (IIw, IIIw, IVw) 及びハット形鋼矢板 (10H, 25 H) には適用しない。 (注) 1. 上表は、広幅鋼矢板 (IIw、IIIw、IVw) 及びハット形鋼矢板 (10H、25H,45H,50H) には適用しない。 2. 引抜長は、地表面よりの鋼矢板及びH形鋼の引抜長であり、鋼矢板長及 2. 引抜長は、地表面よりの綱矢板及びH形綱の引抜長であり、綱矢板長及びH形綱長とは異なる。 びH形鋼長とは異なる。 (2) 付属機械 (2) 付属機械 バイブロハンマの付属機械の機械・規格は、次表を標準とするが、現場条件により次表により難い場合は,施 バイプロハンマの付属機械の機械・規格は、次表を標準とするが、現場条件により次表により難い場合は、 工上必要な機械・規格を計上する。なお、水上施工の場合の台船、引船は表3.5を標準とする。 施工上必要な機械・規格を計上する。なお、水上施工の場合の台船、引船は表3.5を標準とする。 表3.4 付属機械の機種の選定 表3.4 付属機械の機種の選定 バイブロハンマ種別 施工内容 機械名 規格 バイプロハンマ種別 施工内容 機械名 規格 電動式バイブロハンマ 打込み(WJ併用施工を含む)・引抜き 電動式バイブロハンマ 打込み(WJ併用施工を含む)・引抜き 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 油圧駆動式ウインチ・ラチスジプ型 クローラクレーン 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラクレーン 排出ガス対策型(第1次基準値) 50~55t.吊 50~55t.吊 打込み(WJ併用施工を含む) 打込み(WJ併用施工を含む) 油圧伸縮ジプ型 排出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊 油圧式バイブロハンマ 油圧式バイブロハンマ 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型(第1次基準値) 25t呂 引抜き ラフテレーンクレーン (注) 現場条件により濁水処理が必要な場合は、「第2編第6章⑬濁水処理工(一般土木工事)」により別 (注) 現場条件により濁水処理が必要な場合は、「第2編第6章⑬濁水処理工(一般土木工事)」により別 表3.5 台船・引船 表3.5 台船・引船 矢板積台船 杭打機台船 矢板積台船 杭打機台船 引 船 引 船 船 付 台 台 台船 台船 引船 引船 台船 (300t 積) 台船 (300t 積) 台船 (300t 積) 1 台 クローラクレーン(40~50t 吊)1 台 (200t 積) 1 台 (鋼製 D 200PS 型 15GT) 1 台 (200t 積) 1 台 (鋼製 D 200PS 型 15GT) 1 台 クローラクレーン(40~50+ 吊)1 台

工種名	現 行	改定	適 用
バイブロハンマ エ	3-2 日当り編成人員 鋼矢板、H形鋼の打込・引抜作業の日当り編成人員は、表3.6を標準とする。なお、水上施工の1船団 に対する船舶作業の日当り編成人員は、表3.7を標準とする。	3-2 日当り編成人員 鋼矢板、日形鋼の打込・引抜作業の日当り編成人員は、表3.6を標準とする。なお、水上施工の1船団に 対する船舶作業の日当り編成人員は、表3.7を標準とする。	
	表3.6 打込・引抜作業の日当り編成人員     (人/日)       項目     区分     土木一般世語役とび工普通作業員溶接工       バイブロハンマ 離施工無し 1 2 1 -     単級施工無し調欠板(溶接接合) 1 2 1 2       (打込み,引抜き) H形御(ボルト接合) 1 3 1 -     コート       ヴォータジェット 併用施工     一部経施工無し 1 2 1 1 2       H形御(ボルト接合) 1 3 1 1     コート	表3.6 打込・引抜作業の日当り編成人員     (人/日)       項目     区分     土木一般世話役とび工管通作業員溶接工       バイブロハンマ単独施工無し     1     2     1     -       (打込み,引抜き)     HFが網(ボルト接合)     1     3     1     -       ウォータジェット併用     維施工無し     1     2     1     1       研入板(溶接接合)     1     2     1     1       研入板(溶接接合)     1     2     1     2       HF網(ボルト接合)     1     3     1     1	
	表3.7 船舶作業の日当り縄成人員     (人/日)       職 種 杭打機台船 矢板積台船 引 船       高 級 船 員     1       (注) 1. 船員は休日以外の休止日については、共通仮設費の準備費における繋船費として計上する。       2. 潜水士は必要に応じて船員と同様な方法で計上する。       3. 海上及び港湾工事で、これにより難い場合は別途考慮する。       4. 上表は打込み、又は引抜作業時の配置人員であり、搬入、搬出等の回航は共通仮設費における運搬費として計上する。	表3.7 船舶作業の日当り編成人員 (人/日) 職 種 杭打機台船 矢板積台船 引 船 高 級 船 員 1 1 (注) 1. 船員は休日以外の休止日については、共通仮設費の準備費における繋船費として計上する。 2. 潜水士は必要に応じて船員と同様な方法で計上する。3. 海上及び港湾工事で、これにより難い場合は別途考慮する。4. 上表は打込み、又は引抜作業時の配置人員であり、搬入、搬出等の回航は共通仮設費における運搬費として計上する。	
	3-3 日当り施工枚(本)数 (1)打込み(維施工無し) 鋼矢板, H形鋼の日当り打込枚数及び本数(N)は,表3.8~表3.19による。 1)電動式バイブロハンマによる施工(Nmax<50)	3-3 日当り施工枚(本)数 (1)打込み(継施工無し) 鋼矢板、H形鋼の日当り打込枚数及び本数(N)は,表3.8~表3.19による。 1)電動式パイプロハンマによる施工(Nmax<50)	
	表3.8 日当9施工枚(本)数(N)(陸上施工) [枚(本)/日] 型式 IA型 II型 III型 IV型 V <sub>L</sub> 型 II w型 III w型 II w国 II	表3.8 日当9施工枚(本)数(N)(陸上施工) [枚(本)/日]  型式 IA型 II型 II型 IV型 V <sub>1</sub> 型 II w型 II w	

工種名					現	ŕ	丁																2	炇	定	2								適月	月
バイブロハンマ			表3. 9	日当	り施工す	枚(本)数	女(N) (:	水上施	(工)			[枚	(本)	) /日							表3	9 日	当り施	工枚(	本)数	(N) (7	k上施.	L)			[枚(	本) /	/目]		
エ	型式 [	A型 Ⅱ型	III型 I	IV型 V	V <sub>1</sub> 型 II ·	w型III w <sup>z</sup>	型IVw型	型10H型	型25H型	₹ H200	H250	Н300	Н35	0 H400		±Ti3	.長(m)	型=	I A	型Ⅱ型	型皿型	IV型	V <sub>L</sub> 型	IJ w型	III w型	IVw型	10H型	25H型	H200	H250 I	1300 H	1350 H	1400		
	打込長(m)	29 28	28	28	27 2	28 28	27	28	27	28	28	97	97	26		111	2以下	-	29	28	3 28	28	27	28	28	27	28	27	28	28	27	27	26		
		29 28				26 25		24	-	26		_	_	_			4以下		27	26	26	25	23	26	25	23	24	23	26	25	24	22	21		
		26 25		_		23 22	_	22	+	24		_	_	_			6以下	-	26	25	24	22	21	23	22	21	22	20	24	23	21	19	17		
	9以下	23	-	_	18 2	21 20	_	19	17	23	20	_	_	14			9以下			23	_	_	_		20	_	19	17		20		_	14		
	12以下	21	19	18	15 1	19 17	15	17	15	21	18	16	14	12			12以7			21	_	+	_	_		_		15	21	18		_	12		
	15以下	19	18	16	14 1	17 15	14	15	13		16	15	12	10		_	15以7		-	19	18			17		14 13	15	13		16		_	9		
	19以下		17	15	13	15	13		12			14		9			19以7				17	15	+		15	13		12				10	8		
	23以下			_	11		11					12	_				25以					13	_			10					_	_	7		
	25以下	1-11 100			10	HH 12.4	10					11	9	7	ļ	(注)	施工村		) 数に	は, 3	尊材 (				間が含		ている。								
	(注) 施工枚(本)数	には、導	材 (ガ-	1 F)	の施工	・井間かる	含まれ	ている	0																										
	2)油圧式バイブロ	ハンマに	よる施口	L (N	max < 50	0)										2)	油圧式	ンバイ:	ブロハ	ンマに	こよる	施工 (	Nmax	< 50)											
			表3.10	日 当	り施工	枚(本)数	牧(N)(	陸上施	五)			[枚	(本)	) /日							表3.	10 E	当り旅	工枚(	(本)数	(N) (	- 上施	<b>工</b> )	_		[枚(	本) /	/日]		
	型式 打込長(m)	Ⅰ型 Ⅲ型	IV型	V <sub>L</sub> 型	II w型	IIIw型 IV	Vw型 1	H型 2	5H型 H	H200	H250	H300	H350	H400		打込長(	型式	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	$V_{L}$ 型	Ⅱ w型	Ⅲw型	IVw型	10H型	25H型	45H型	50H型	H200	H250	Н300	H350	H400		
		56 55	53	51	55	53	51	52	50	56	54	52	49	46		2以-	下	56		53	51	55	53	51	52	+	49	47	56	54	52	49	-		
		48 46		39	45			_	_	48	44	40	35	_		4以	_	48		43	39	45	42	38	41	37	35	33	48	44	40	35			
	6以下	42 39	36	31	39	35	31	34	30	42	37	33	27	24		6以		42		36	31	39	35	31	34	_	27	25	42	37	33	27			
	9以下 :	37 33	30	25	33	29	25	28	24		31	27	21	18		9以		37		30 25	25 20	33 28	29 24	25 20	28	24 19	21 17	20 15	-	31 26	27	21			
		31 28		20	28			-	19		26	22	17	_		15以	-	28		21	17	24	20	17	19	_	14	_		22	18	14			
		28 25		17	24				16		22	18	14	_		19以	_	20		18	14		17	14	10	13	12	_			16	12			
	19以下	21	_	14			14		13			16	12			23以	下			16	12			12							13	10	8		
	23以下		16	12			12					13	10	7		25以	下			14	11			11							12	9	7		
	(注)施工枚(本)数	には. 連			及び敷			間が含	まれて	ている		12	3	'	ı	(注)	施工村	女 (本	)数に	は, 注	尊材(	ガイド	) 及(	が敷鉄:	板の施	工手間	別が含	まれて	いる。						
	(III) 32-pt (1) 3t		表3.11									[枚	(本)	) /日							表3.	11 E	当り旅	五枚(	(本)数	(N) (z	水上施	I)			[枚(	本) /	/日]		
	型式	- Wil	l wywii	** ***	- WI	*** ***									]	lus) 7	-	型:	t   II 型	2 m	型 IV	型 V <sub>L</sub>	型 II v	/型 Ⅲν	w型 IV	w型 10	H型 25	H型 H	200 H2	250 H	300 H	350 H	I400		
	打込長(m)	Ⅰ型 Ⅲ型	IV型	VL型	H W型	mw空 IV	v w 422 11	<b>н</b> ⊈ 2:	l 型hc	1200	н250	нз00	H350	H400		打込	.長(m) 2以下	_	28	28	8 2	3 2	7 2	8 9	8 2	27 :	27 2	27	28 2	28 2	27 :	26	26		
		28 28		27	28		_	_	_	28	28	27	26				4以下		26	_	_	_		_						_			20		
		26 25		23		_	_			26	25	24	22				6以下		24	_	_	_	_	_				_		_	_	_	17		
		24 23	_	20	23					24	22	21	18				9以下		22	2	1 2	) 1	7 2	1 1	9 ]		_	17	2	20 ]	18	16	14		
		22 21 20 19		17 15	21 19				17 14		20 18	18 16	16 13				12以	5	20	19	9 1	7 1	5 1	9 1	7 1	15	16	14	1	18	16	13	11		
		19 17		13					13		18	16	11	_	-		15以		19		_	_	_					13				_	10		
	19以下	19 17		11	11		11		11		10	12		_			19以			16	_	_	_	1		1	1	1					8		
	23以下	10	12	10			10	-	+			11	_	7	1		23以7		-	-	1:	_	_	-	_	0		4				_	7		
	25以下		11	9			9					10	8	6		(324)	25以		\ 444-1-e			1 9	_	t		9	-1.7			- 1	10	8	6		
	(注) 施工枚(本)数	(には, 導	材(ガ-	イド)	の施工	手間が言	含まれ	ている		•				•	•	(注)	施工村	人 (本	) 奴に	.≀J, ≛	等材 (	ルイド	) V)}	四上于	同か言	よれ	いる。								

工種名	現 行	改定	適 用
バイブロハンマ	3) 電動式バイブロハンマとウォータジェット併用施工	3) 電動式パイプロハンマとウォータジェット併用施工	
エ	表3. 12 日当り施工枚(本)数(N)(陸上施工) [枚(本)/日]	表3.12 日当り施工枚(本)数(N)(陸上施工) [枚(本)/日]	
	型式 II型 III型 IV型 V <sub>L</sub> 型 II w型 IVW型 IVW型 10H型 25H型 H200 H250 H300 H350 H400	型式 II型 III型 IV型 V <sub>1</sub> 型 II w型 III w型 IV w型 10H型 25H型 H200 H250 H300 H350 H400	
	2以下	2以下	
	4以下	4D/F 40 38 35 31 37 34 31 34 30 40 36 33 28 25 (44) (43) (43) (41) (38) (40) (38) (40) (37) (44) (41) (39) (35) (32)	
	6以下	6 DATE 29 27 25 22 27 27 24 22 29 25 23 19 17 29 25 22 27 27 24 21 29 25 23 29 25 22 25 22 25 22 25 25 22 25 25 25 25	
	9以下	9以下 22 20 18 16 20 18 16 17 15 21 19 17 14 12 (25) (24) (22) (20) (24) (22) (20) (21) (20) (21) (19) (25) (23) (21) (18) (16)	
	12以下	12以下	
	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	15以下	
	19以下	19以下	
	23以下 8 7 7 9 6 7 9 8 7	23以下	
	25以下 (9) (8) (8) (7) (6) (8) (7) (6)	25以下	
	<ul> <li>(注) 1. 凡例</li> <li>上 段:50≦Nmax&lt;100</li> <li>下段()書き:Nmax&lt;50で, 転石等により, やむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する必要が生じた場合。</li> <li>2. 施工枚(本)数には, 導材(ガイド)及び敷鉄板の施工手間が含まれている。</li> </ul>	<ul> <li>(注) 1. 凡例</li> <li>上 段:50≦ Nmax&lt;100</li> <li>下段()書き: Nmax&lt;50で, 転石等により, やむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する必要が生じた場合。</li> <li>2. 施工枚(本)数には, 導材(ガイド)及び敷鉄板の施工手間が含まれている。</li> </ul>	
	表3. 13 日当り施工枚(本)数(N)(水上施工)     [枚 (本) /日]       型式	表3. 13 日当り施工枚(本)数(N)(水上施工)     [校 (本) /日]       型式	
	Ti 型 II型 IV型 V 型 II w型 IV w型 IV w型 IOH型 25H型 H200 H250 H300 H350 H400 H350 H400	打込長(m) II型 II型 IV型 VL型 IIw型 IIw型 IVw型 10H型 25H型 H200 H250 H300 H350 H400	
	2以下 30 30 29 28 30 29 28 30 29 28 30 29 28 30 29 28 30 29 29 27 26 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	2以下 30 30 29 28 30 29 28 29 28 30 29 28 30 29 27 26 (31) (31) (30) (30) (31) (30) (30) (30) (30) (30) (31) (31) (31) (30) (29) (29)	
	4以下 24 23 22 20 23 22 20 21 20 23 22 21 19 17 (25) (25) (25) (24) (23) (24) (24) (24) (23) (23) (22) (25) (25) (24) (23) (22) (25)	4以下	
	6以下	6以下	
	9以下	9以下	
	12以下	13 12 11 10 12 11 10 11 9 13 11 10 9 8 (14) (14) (13) (12) (14) (13) (12) (13) (12) (13) (12) (14) (13) (12) (14) (13) (12) (14) (13) (12) (14) (13) (12) (11) (10)	
	15以下	15以下	
	19以下 9 8 7 8 7 8 7 8 6 5 (10) (10) (9) (10) (9) (9) (9) (9) (10) (9) (8) (7)	19UT 9 8 7 8 7 8 7 8 8 6 5 (10) (10) (9) (10) (9) (9) (9) (9) (9) (10) (9) (8) (7)	
	23DJF 7 6 6 6 6 5 5 6 8 (8) (7) (6)	23以下 7 6 6 6 6 6 5 5 6 8) (8) (8) (7) (6)	
	25UF 6 5 5 5 6 5 4 (7) (7) (7) (7) (6) (5)	25以下 6 5 5 5 6 5 4 (7) (7) (7) (6) (5)	
	(注) 1. 凡例	(注) 1. 凡例 上 段: 50≦Nmax<100 下段()書き:Nmax<50で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する必要が生 じた場合。 2. 施工枚(本)数には、導材(ガイド)の施工手間が含まれている。	

工種名						瑪	ļ	行															改		定									遃	10 月	Ħ
バイブロハンマ	4) 電動式バイブ	ロハン	マとウ	オータ	タジェ	ット伊	用施口	. (10	0≦Nma:	x≦180	)							4) 電動式バ	イブロハン	/マとウ	ウォー:	タジェ	ット併	用施工	(100	≦Nmax	:≦180	)								
エ			差	₹3. 14	日当	り施工	枚(本	)数(N	)(陸上	施工)				枚 (	(本)	/日]				ā	表3.14	日当	り施工	枚(本)	数(N)	(陸上	施工)			[#	女 (本	) /日]	]	1		
	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	V <sub>L</sub> 型	II w	∐ w∄	ĕ IVw≛	텔 10H5	25H型	₹ H200	H25	0 H30	00 Н	350	H400		打込長(m)	型式 Ⅱ型	2 111型	IV型	V <sub>L</sub> 型	II w <u></u>	U w型	IVw型	U 10H型	25H型	H200	H250	H30	H350	H400		ĺ		
	2以下	58	55	52	46	55	50	46	50	45	57	52	48	₹ .	42	37		2以下	58	55	52	46	55	50	46	50	45	57	52	48	42	37		1		
	4以下	33	_	_	_	30	_	_	_	_	_	_	_		20	17		4以下	33			+	30	+	23	_	22	_	28	_	_		1	1		
	6以下	23	21			21	18	15	17		_	19	17	7	13	11		6以下	23	_	_		21	_	15	_	15		19	_	_			1		
	9以下	17	15	13	11	15	13	11	12	10	17	14	12	2	9	8		9以下	17	_	_		15		11	_	10	_	14		_	8		1		
	12以下	13	11	10	8	11	10	8	9	8	12	10	9		7	6		12以下	13	11	10	8	11	10	8	9	8	12	10	9	7	6		1		
	15以下	10		8	6	9	8	6	_	6	10	+			5	4		15以下	10	9	8	6	9	8	6	7	6	10	8	7	5	4		1		
	19以下		7	6			6	_	_	5		7	_	_	4	4		19以下		7	6	5		6	5	6	5		7	6	4	4		1		
	23以下			5	_	-		4	_	4			5	_	4	3		23以下			5	+			4		4			5	_			1		
	25以下	V.) - 1.1.	- We LL	5		7 10 16/	All III on	4		4			4		3	3		25以下			5				4		4			4	3	3	_	1		
	(注) 施工枚(本) 数	対には	,導材	(ガイ	F) b	女び 敷	鉄板の	施工三	上間 かき	SEN'	ている	0						(注) 施工枚(	本)数には	,導材	・(ガィ	'ド) 及	び敷	鉄板の	施工手	間が含	゙まれ゛	ている。	0					Ì		
			表	₹3. 15	日当	り施工	枚(本	)数(N	)(水上	施工)	1		- [	[枚(	(本)	/日]				ā	表3.15	日当	り施工	枚(本)	数(N)	(水上	施工)			[:	枚(本	) /日	]	Ì		
	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型															打込長(m)	型式 Ⅱ型	□□型	IV型	V <sub>L</sub> 型	II w型	UII w型	IVw型	년 10H型	! 25H型	H200	H250	Н30	0 H35	0 H400				
	2以下	29	_	_	26	28				_	_		_	_	_	23	Ī	2以下	29	28	27	26	28	27	26	27	25	29	27	26	24	23		1		
	4以下	21	20	1	16	20		_		+		_	_	_	15	13		4以下	21	20	19	16	20	18	16	18	16	21	19	17	15	13		1		
	6以下	17	15	14	12	15		12	_	12		14	_	_	11	9	Ī	6以下	17	15	14	12	15	14	12	13	12	16	14	13	11	9		1		
	9以下	13	12	_	9	12	_	_		_	13	+	_	_	8	7		9以下	13	12	11	9	12	10	9	10	9	13	11	10	8	7		1		
	12以下	10 9	10	8	7	9	8	7 6	_	7 5	10	9	_	_	6 5	5 4		12以下	10	10	8	7	9	8	7	8	7	10	9	8	6	5		1		
	15以下	9	7	7	5	8	7	5	_	5	9	6	_	_	4	3		15以下	9	8	7	6	8	7	6	6	5	9	7	6	5	4		1		
	23以下		- 1	5	4	-	6	4		4	-	- 6	4	_	3	3		19以下		7	6	5		6	5	5	5		6	5	4	3		1		
	25以下			4	3	1		3	_	3			4	_	3	2		23以下			5	4			4		4			4	3	3		1		
	(注)施工枚(本)数	41-12	286.4-4		1	+6	T 88 22			_			1		J	4		25以下			4	3			3		3			4	3	2		İ		
																		(注)施工枚(2	本)数には	,導材	(#/	F) 0	施工三	手間が~	含まれ	T ( V S	do									

工種名		現	行	改定	適 用
バイブロハンマ エ	5)油圧式バイブロハンマとウォータ		z(本)数(N)(隆上施工) [枚(本)/日]	5) 油圧式バイブロハンマとウォータジェット併用施工 表3.16 日当9施工枚(本)数(N)(陸上施工) [枚(本)/日]	
	型式 Ⅱ型 Ⅲ型		型 Ⅲw型 Ⅳw型 10H型 25H型 H250 H300 H350 H400	型式 II型 III型 IV型 III业 III业 III业 III业 III业 I	
	2以下 61 58 (66) (64)	55 51 58 (62) (58) (64)	54 50 53 49 56 52 46 42 (61) (58) (60) (57) (62) (60) (55) (51)	2以下	
	4以下 36 34 (40)	31 27 33		4以下 36 34 31 27 33 30 26 29 26 31 28 23 20 (42) (40) (37) (34) (39) (36) (33) (36) (33) (36) (33) (38) (35) (30) (27)	
	6以下 26 24 (30) (29)	21 18 23 (27) (24) (28)	21 18 20 17 22 19 16 13 (26) (23) (25) (23) (27) (25) (21) (19)	6以下 26 24 21 18 23 21 18 20 17 22 19 16 13 (30) (29) (27) (24) (28) (26) (23) (25) (23) (25) (23) (27) (25) (21) (19)	1
	9以下 19 17 (23) (21)	15 13 17 (20) (17) (21)	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	9以下	1
	12以下 14 13 (16)	11 10 13 (15) (13) (16)	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	12以下	1
	15以下 12 10 (13)	9 8 10 (12) (10) (13)	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	15以下	1
	19以下 8 (11)	7 (10) 6 (8)	7 6 7 6 8 7 6 8 7 5 4 (10) (8) (9) (8) (10) (9) (7) (6)	19以下	1
	23以下	6 (8) (7)	$\begin{pmatrix} 5 \\ (7) \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} 5 \\ (7) \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} 5 \\ (7) \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} 4 \\ (6) \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} 4 \\ (5) \end{pmatrix}$	23以下 6 (8) (7) (7) (7) (7) (7) (4 (6) (5)	1
	25以下 (注) 1. 凡例	5 (7) 4 (6)	4 (6) 4 (7) 4 3 (5) (5)	25以下	1
			敷鉄板の施工手間が含まれている。  ((本)数(N)(水上施工) [枚(本) /日]	2. 施工枚 (本) 数には,導材 (ガイド) 及び敷鉄板の施工手間が含まれている。 表3.17 日当り施工枚(本)数(N)(水上施工) [枚 (本) /日]	
	型式 Ⅱ型 Ⅲ型	IV型 V <sub>L</sub> 型 II w写	型 Ⅲw型 Ⅳw型 10H型 25H型 H250 H300 H350 H400	型式 II型 III型 IV型 IV型 IIw型 IIIw型 IVW型 10H型 25H型 H250 H300 H350 H400	
	2以下 30 29 (31) (30)	28 27 29 (30) (29) (30)		2以下 30 29 28 27 29 28 27 28 27 28 27 28 27 28 27 26 24 (31) (30) (30) (29) (30) (30) (29) (29) (29) (29) (30) (29) (29) (29)	1
	4以下 22 21 (24) (23)			4以下 22 21 20 18 21 20 18 19 18 20 19 17 15 (24) (23) (23) (21) (23) (22) (21) (22) (21) (22) (21) (23) (22) (20) (18)	1
	6以下 18 17 (20) (19)	(18) (17) (19)	(18) (17) (18) (16) (18) (17) (15) (14)	6以下	
	9以下 14 13 (16) (16)	(15) (13) (15)	(14) (13) (14) (13) (15) (14) (12) (11)	9以下	1
	12以下 11 11 (13) (13) (13) 10 9	10 8 10 (12) (11) (13) 8 7 9	9 8 9 8 10 9 7 6 0 (12) (11) (11) (10) (12) (11) (9) (8) 8 7 7 6 8 7 6 5	12以下	1
	15以下 (11) (11)			15bk F (11) (11) (10) (9) (11) (10) (9) (9) (9) (10) (9) (8) (7)	1
	1912 (9)	(8) (7) 6 5	(8) (7) (8) (7) (9) (8) (7) (6) 5 4 5 4 3	196 F (9) (8) (7) (8) (7) (9) (8) (7) (6)	1
	23以下 25以下	(7) (6) 5 4	(6) (6) (7) (5) (5) 4 4 4 4 3 3 3	23以下 (7) (6) (6) (6) (7) (5) (5) (5) (5) (25以下 (2) (4) (4) (4) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	
	(注) 1. 凡例 上 段:50≦Nm 下段()書き:Nmax<	(50で, 転石等により じた場合。	(6)   (5)   (6) (5) (4)	(6) (6) (6) (6) (6) (6) (7) (4) (1) 1. 凡例   上 段:50≦Nmax<100   下段() 書き: Nmax<50で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する必要が生じた場合。   2. 施工枚 (本) 数には、導材 (ガイド) の施工手間が含まれている。	

工種名	現 行	改定	適用
バイブロハンマ エ	6) 油圧式バイプロハンマとウォータジェット併用施工 (100≦Nmax≦180)	6) 油圧式パイプロハンマとウォータジェット併用施工(100≦Nmax≦180)	
	表3.18 日当り施工枚(本)数(N)(陸上施工) [枚(本)/日]	表3. 18 日当り施工枚(本)数(N)(陸上施工) [枚(本)/日]	
	型式 II型 III型 IV型 V <sub>L</sub> 型 IIw型 IIw型 IVw型 10h型 25h型 H250 H300 H350 H400	型式         II型         II型         IV型         V <sub>L</sub> 型         II w型         II w型         IV w型         10 H型         25 H型         H250         H300         H350         H400	
	2以下 51 48 44 38 47 42 38 41 36 45 40 33 29	2以下 51 48 44 38 47 42 38 41 36 45 40 33 29	
	4以下 27 24 21 17 24 20 17 20 16 22 19 15 12	4以下 27 24 21 17 24 20 17 20 16 22 19 15 12	
	6以下 18 16 14 11 16 13 11 13 11 15 12 9 8	6以下 18 16 14 11 16 13 11 13 11 15 12 9 8	
	9以下 13 12 10 8 11 9 8 9 7 10 9 6 5	9以下 13 12 10 8 11 9 8 9 7 10 9 6 5	
	12以下 10 9 7 6 8 7 6 7 5 8 6 5 4	12以下 10 9 7 6 8 7 6 7 5 8 6 5 4	
	15以下 8 7 6 4 7 5 4 5 4 6 5 4 3	15以下 8 7 6 4 7 5 4 5 4 6 5 4 3	
	19以下 5 5 4 4 4 4 3 5 4 3 2	19以下 5 5 4 4 4 3 5 4 3 2	
	23以下 4 3 3 3 2 2	23以下 4 3 3 3 2 2	
	25以下 3 3 3 2 2 3 2 2	25以下 3 3 3 2 2 3 2 2	
	(注) 施工枚(本)数には、導材(ガイド)及び敷鉄板の施工手間が含まれている。	(注) 施工枚(本) 数には、導材(ガイド)及び敷鉄板の施工手間が含まれている。	
	表3.19 日当9施工枚(本)数(N)(水上施工) [枚(本)/日]	表3. 19 日当り施工枚(本)数(N)(水上施工) [枚(本)/日]	
	型式	型式   II型   III型   IV型   V_型   II w型   II w型   IV w型   10H型   25H型   H250   H300   H350   H400	
	打込長(m)   II型   II型   IV型   V <sub>L</sub> 型   IIw型   IIw型   IVw型   10H型   25H型   H250   H300   H350   H400	打込長(m) 1 型 1 型 1 V 型 1 V 工 1 W 型 1 V W 型 1 V W 型 1 V W 型 1 V M 型 1 V W 型 1 V M D M D M D M D M D M D M D M D M D M	
	2以下 27 26 25 23 26 24 23 24 22 25 24 21 19	2以下 27 26 25 23 26 24 23 24 22 25 24 21 19	
	4以下 18 17 15 13 17 15 13 15 13 16 14 12 10	4以下 18 17 15 13 17 15 13 15 13 16 14 12 10	
	6以下 14 13 11 9 12 11 9 10 9 12 10 8 7	6以下 14 13 11 9 12 11 9 10 9 12 10 8 7	
	9以下 11 10 8 7 9 8 7 8 7 9 7 6 5	9以下 11 10 8 7 9 8 7 8 7 9 7 6 5	
	12以下 8 7 6 5 7 6 5 6 5 7 6 4 4	12以下 8 7 6 5 7 6 5 6 5 7 6 4 4	
	15以下 7 6 5 4 6 5 4 5 4 5 5 3 3	15以下 7 6 5 4 6 5 4 5 4 5 3 3	
	19以下 5 4 3 4 3 4 3 4 3 2	19以下 5 4 3 4 3 4 3 2	
	23以下 4 3 3 3 3 2 2	23以下 4 3 3 3 2 2	
	25以下 3 2 2 2 3 2 2	25以下 3 2 2 2 3 2 2	
	(注) 施工枚(本) 数には、導材(ガイド)の施工手間が含まれている。	(注) 施工枚(本) 数には、導材(ガイド)の施工手間が含まれている。	

工種名					現	行	Ī												改	5	Ē							適	用
バイブロハンマ エ		11枚( 31を標 H形録 3.31 (, H形 日当り)	準とする 到1枚( の枚数及 鋼1枚 継施工材	か。 本)に なび本数 (本) 当 な数及び	つき 2 f に乗じ j y X 箇 j i 本数に・	箇所以。 て,1   所継ぐな	上継施 日当り組 場合のE	工を行 迷施工村 ヨ当り絹	う場合に 女数及び 迷施工枚	t,表 本数を 数及び	3.320 次式に 本数=	の補正 よりオ N×F	係数 (F) はめる。	表3.20~ また,鋼 表3.20~	H形鋼表3. 実板, 表3. 数年表3. 数年数 なお,	1 枚( 31を標 H形鋼 31の枚 , H形 日当り;	準とする  1枚(2 数及び2 鋼1枚 継施工材	る。 本)につ 体数に乗 (本) 当 女数及び	oき 2 箇 ぎじて, jり X 箇 ぶ本数に	所以上 1日当 所継ぐ ついて(	継施工)継施:	を行うす	場合は, び本数 施工枚	表 3 . (を次式 (数及び	32の補 により3 本数=1	正係数 kめる。 N×F			
			表3.20	) 日当(	り継施工	枚(本)	数(N)	(陸上が	瓶工)	(1枚	(本)	当り1	箇所継ぎ)				表3.2	0 日当	り継施エ	枚(本)	数(N)	(陸上施	工)	(1枚	(本) 当	的 1 箇	所継ぎ)		
	型式	m #il	IV型	1								Ī		型式	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	<b>Ⅲ</b> w型	IVw型	10H型	25H 型	H250	H300	H350	H400		
	打込長(m)	加五	IV至	VL Y	IIW空	mw空	IVW空	10日至	25日至	п250	пэоо	пээ	0 п400	打込長(m)	21	17	15	8	19	15	10	10	8	18	14	13	10		
	2以下 21	17	15	8	19	15	10	10	8	18	14	13	10	4以下	20	16	14		18	14	10	9	7	17	13	12	9		
	4以下 20	1	14	8	18	14	10	9	7	17	13	12		6以下	19	15	13	8	17	13	9	9	7	16	12	11	9		
	6以下 19	_	13	8	17	13	9	9	7	16	12	11		9以下	18	14	12	7	16	12	9	8	7	15	11	10	8		
	9以下 18	1	12	7	16	12	9	8	7	15	11	10		12 以下	17	13	11	7	15	11	8	8	6	14	10	9	7		
	12以下 17	-	11	7	15	11	8	8	6	14	10	9		15 以下	16	12	10	6	14	11	8	8	6	12	10	8	6		
	15以下 16	+	10	6	14	11	8	8	6	12	10	8	_	19以下		12	10			10	7		6		9	8	6		
	19 以下	12	10	6		10	7		6		9	7	_	23 以下 25 以下			9	6			7				8	7	5 5		
	25以下		9	6			7				8	6		(注)施工枚(本	-) 粉ル	/十 道:	1		アド南行会生	おの梅		が今まれ	ている		8	ь	Б		
	(注)施工枚(本)数に	(け 道:			てド車を針が	板の施っ		い会すれ	1.ていろ		0	0	3	(11) /61-12 (7	, ,,,,,,,	10, 4	11 (24	11/2	.0 2020	1000000	- 1 IHJ	v. □ σ×4 c		0					
		.10, 77	PJ (24 )	1,2	0 3030	(X * > 7)E -	1 IHJA	, п «	0 ( 1 )	0							表3.2	1 日当	り継施エ	枚(本)	数(N)	(水上施	エ)	(1枚	(本) 当	的 1 箇	所継ぎ)		
	HII 4	1	表3. 2	1 日当	り継施工	枚(本)	数(N)	(水上湖	1	(1枚	(本)	当り1	箇所継ぎ)	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	<b>Ⅲ</b> w型	IVw型	10H型	25H 型	H250	H300	H350	H400		
	型式 打込長(m)	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	Шw 型	Ⅳw型	10H 型	25H 型	H250	H300	H35	0 H400	2以下	15	13	12	7	14	12	9	8	7	14	11	10	9		
	2以下 15	13	12	7	14	12	9	8	7	14	11	10	9	4以下	15	12	11	7	14	11	8	8	6	13	11	10	8		
	4以下 15	1	11	7	14	11	8	8	6	13	11	10		6以下	14	12	10		13	11	8	8	6	12	10	9	7		
	6以下 14	-	10	7	13	11	8	8	6	12	10	9		9以下	14	11	10	-	12	10	8	7	6	11	10	8	7		
	9以下 14	+	10	6	12	10	8	7	6	11	10	8	7	12 以下	13 12	11	9	6	12	9	7	7	6 5	11	9	7	6		
	12以下 13	11	9	6	12	9	7	7	6	11	9	8	6	19以下	12	10	9	6	- 11	9	7	+ '-	5	10	8	7	5		
	15以下 12	10	9	6	11	9	7	7	5	10	8	7	6	23 以下			8	5			6				7	6	5		
	19以下	10	9	6		9	7		5		8	7	5	25 以下			8	5			6				7	6	5		
	23 以下		8	5			6				7	6	5	(注) 施工枚(本	:) 数に	は,導	材(ガィ	イド) の	施工手	間が含	Eれて!	いる。							
	25 以下		8	5			6				7	6	5																
	(注) 施工枚(本) 数に	は,導	材(ガィ	イド) の	施工手	間が含え	まれてい	いる。																					

工種名						玗	₹ .	行												改	5	Ē							通	鱼厂	— 判
バイブロハンマ	2)油圧式バ	バイブロ	ハンマ	によるカ	施工(N	Vmax<	(50)								2)油圧式/	バイブロ	ハンマ	によるカ	施工(N	Vmax<	50)										
エ				表3.2	2 日当	り継施エ	(本)	数(N)	(陸上施	エ)	(1枚	(本) 当	り1箇	所継ぎ)				表3. 2	2 日当	り継施エ	(本)	数(N)	(陸上旅	王)	(1枚	(本) 当	当り1箇	所継ぎ)			
	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	IIIw 型	IVw 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400	型式	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	IIIw 型	IVw 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400			
	2以下	21	17	15	8	19	15	10	10	8	18	14	13	10	打込長(m) 2以下	21	17	15	8	19	15	10	10	8	18	14	13	10			
	4以下	20	16	14	8	18	14	10	9	7	17	13	11	9	4以下	20	16	14	8	18	14	10	9	7	17	13	11	9			
	6以下	19	15	13	8	17	13	9	9	7	16	12	10	8	6以下	19	15	13	8	17	13	9	9	7	16	12	10	8			
	9以下	18	14	12	7	16	12	9	8	7	14	11	9	8	9以下	18	14	12	7	16	12	9	8	7	14	11	9	8			
	12以下	16	13	11	7	14	11	8	8	6	13	10	9	7	12以下	16	13	11	7	14	11	8	8	6	13	10	9	7			
	15以下	15	12	10	6	13	10	7	7	6	12	9	8	6	15以下	15	12	10	6	13	10	7	7	6	12	9	8	6			
	19以下		11	9	6		9	7 6		5		9	7	6	19以下		11	9	6		9	7		5	ļ	9	7	6			
	23以下 25以下			9	5 5			6				7	6	5	23以下			9	5			6				8	6	5			
	(注)施工枚(本	) 地に	1十 道#	1	1	アド車を全生	おの施っ	l	ふ全すわ	ている		L '	0		25以下			8	5		(m - 1/	6			ļ	7	6	5			
	(江) 旭工队 (平	/ 30101	(a) 14°1	ri (>v·)	11/2	0 20.50	(1)X = 2 /1)E -	T- 1 IHJ/	- D 2-41		,				(注) 施工枚(本	(1) 数に	は,導	材(ガイ	イド)及	てが敷鉄	板の施.	上+間7	い含まれ	にている	0.0						
				表3.2	3 日当	り継施エ	(本)	数(N)	(水上施	エ)	(1枚	(本) 当	り 1 箇	所継ぎ)				表3. 2	3 日当	り継施エ	枚(本)	数(N)	(水上旅	五)	(1枚	(本) 当	当り1箇	所継ぎ)			
	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	Ⅲw型	IVw 型	10H型	25H 型	H250	H300	H350	H400	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型			Ⅱw型						H300		H400			
	2以下	15	13	12	7	14	12	9	8	7	14	11	10	9	2以下	15	13	12	7	14	12	9	8	7	14	11	10	9			
	4以下	15	12	11	7	14	11	8	8	6	13	11	10	8	4以下	15	12	11	7	14	11	8	8	6	13	11	10	8			
	6以下	14	12	10	7	13	11	8	8	6	12	10	9	7	6以下	14	12	10	7	13	11	8	8	6	12	10	9	7			
	9以下	13	11	10	6	12	10	7	7	6	11	9	8	7	9以下	13	11	10	6	12	10	7	7	6	11	9	8	7			
	12以下	13	11	9	6	12	9	7	7	5	11	9	7	6	12以下	13	11	9	6	12	9	7	7	5	11	9	7	6			
	15以下	12	10	9	6	11	9	7	6	5	10	8	7	6	15以下	12	10	9	6	11	9	7	6	5	10	8	7	6			
	19以下		10	8	5		8	6		5		7	6	5	19以下		10	8	5		8	6		5		7	6	5			
	23以下			8	5 5			6 5				7	5 5	5	23以下			8	5			6			ļ	7	5	5			
	(注)施工枚(本	\ 464) = 1	丁 :與+	7		+	明ぶる。		. 7			- 1	ъ	4	(注)施工枚(オ			7	5			5				7	5	4			

工種名						現	. 1	亍														改	ን	Ē							適	用
バイブロハンマ	3) 電動式/	ベイブロノ	ハンマと	ニウォー	タジェ	ット併	用施工										3) 電動式バ	イブロ	ハンマ	とウォー	ータジェ	シト併	用施工									
エ				表3. 24	日当	り継施コ	C枚(本)	数(N)	(陸上)	(五)	(1枚	(本) 🗎	当り 11	箇所継ぎ	)	l	型式	1	ı	表3. 24	4 日当	り継施エ	枚(本)	数(N)	(陸上旅	五)	(1枚	(本) 🗎	当り1箇	所継ぎ)		
	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw 型	Ⅲw型	IVw 型	10H型	25H 型	H250	H300	H350	) H400			打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	Ⅲw型	IVw 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400		
	2以下	22 (23)	17 (18)	15 (15)	8 (9)	20 (21)	15 (16)	11 (11)	10 (10)	8 (8)	19 (19)	14 (15)	13 (13)				2以下	22 (23)	17 (18)	15 (15)	8 (9)	20 (21)	15 (16)	11 (11)	10 (10)	8 (8)	19 (19)	14 (15)	13 (13)	10 (11)		
	4以下	18 (19)	15 (15)	13 (13)	8 (8)	17 (18)	13 (14)	9 (10)	9 (9)	7 (7)	15 (16)	12 (13)	11 (11)	9 (9)			4以下	18 (19)	15 (15)	13 (13)	8 (8)	17 (18)	13 (14)	9 (10)	(9)	7 (7)	15 (16)	12 (13)	11 (11)	9 (9)		
	6以下	16 (17)	13 (14)	11 (12)	7 (7)	14 (15)	11 (12)	8 (9)	8 (8)	6 (7)	13 (14)	10 (11)	9 (10)	7 (8)			6以下	16 (17)	13 (14)	11 (12)	7 (7)	14 (15)	11 (12)	8 (9)	(8)	6 (7)	13 (14)	10 (11)	9 (10)	7 (8)		
	9以下	13 (14)	11 (12)	9 (10)	6 (7)	12 (13)	10 (11)	7 (8)	7 (8)	6 (6)	11 (12)	9 (10)	8 (9)	6 (7)			9以下	13 (14)	11 (12) 9	9 (10)	6 (7)	12 (13)	10 (11)	(8)	(8)	6 (6) 5	11 (12) 9	(10)	(9) 6	6 (7) 5		
	12以下	11 (12)	9 (10)	8 (9)	5 (6)	10 (11)	8 (9)	6 (7)	6 (7)	5 (6)	9 (10)	8 (9)	6 (8)	5 (6)			12以下	(12)	(10)	(9)	(6) 5	(11) q	8 (9)	6 (7)	(7)	(6)	(10)	(9)	(8)	(6)		
	15以下	9 (11)	8 (9)	7 (8)	5 (5)	9 (10)	7 (8)	(6)	5 (6)	5 (5)	8 (9)	7 (8)	(7)				15以下	(11)	(9) 8	(8)	(5)	(10)	(8)	(6)	(6)	(5)	(9)	(8)	(7)	(6) 4		
	19以下		8 (8)	7 (8)	4 (5)		6 (7)	5 (6)	5 (6)	4 (5)	7 (8)	6 (7)	5 (6)	_			19以下		(8)	(8)	(5)		(7)	(6)	(6)	(5)	(8)	(7)	(6)	(5)		
	23以下			6 (7)	4 (5)			5 (5)		(4)		(6)	(5)	(5)			23以下			(7) 5	4 (5) 4			(5)		(4)		(6) 5	(5)	(5)		
	(注) 1. 凡例			(6)	(4)			(5)		4 (4)		(6)	(5)	(4)		l l	25以下 (注) 1. 凡例			(6)	(4)			(5)		(4)		(6)	(5)	(4)		
	上	段 ) 書き	: 50≦ N			等によ	n xət	っか得っ	が 枯 打 た	用ウォ	ータジ	ェット	を使用	オス必要	į.		上 下段(		: Nma	Nmax < x < 50で	,転石	等によ	り,やも	『を得る	ぎ 杭打ち	カカウォ	ータジ	エット	を使用す	る必要		
	2. 施工村		が生し	ごた場合	ì.								2 10/19	, 0,03	`		2. 施工枚	(本)	が生 数には,	じた場合 ,導材	う。 (ガイト	() 及び	敷鉄板	の施工	手間がき	含まれて	いる。					
				表3. 25	日当!	り継施コ	C枚(本)	数(N)	(水上)	色工)	(1枚	(本) 🗎	当り 11	箇所継ぎ	)					表3.25	5 日当	り継施エ	枚(本)	数(N)	(水上旅	五)	(1枚	(本)	当り 1 箇	所継ぎ)		
	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	IIIw 型	IVw 彗	U 10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400			型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	V.型			IVw 型	! 10H 型	25H 型				H400		
	2以下	16 (16)	13 (14)	12 (12)	7 (8)	15 (15)	12 (12)	9 (9)	8 (9)	7 (7)	14 (14)	11 (12)	10 (11)	9 (9)			2以下	16 (16)	13 (14)	12 (12)	(8)	15 (15)	12 (12)	(9)	(9)	(7)	14 (14)	(12)	10 (11)	9 (9)		
	4以下	14 (14)	12 (12)	10 (11)	7 (7)	13 (13)	11 (11)	8 (8)	8 (8)	6 (6)	12 (13)	10 (10)	9 (10)	7 (8)			4以下	14 (14)	12 (12)	10 (11)	7 (7)	13 (13)	11 (11)	(8)	(8)	6 (6)	12 (13)	10 (10)	9 (10)	7 (8)		
	6以下	12 (13)	10 (11)	9 (10)	6 (6)	11 (12)	9 (10)	7 (8)	7 (7)	6 (6)	11 (11)	9 (10)	8 (9)	7 (7)			6以下	12 (13)	10 (11)	9 (10)	6 (6)	11 (12)	9 (10)	7 (8)	7 (7)	6 (6)	11 (11)	9 (10)	8 (9)	7 (7)		
	9以下	11 (11)	9 (10)	8 (9)	5 (6)	10 (11)	8 (9)	6 (7)	6 (7)	5 (6)	9 (10)	8 (8)	7 (8)	6 (7)			9以下	11 (11)	9 (10)	8 (9)	5 (6)	10 (11)	8 (9)	6 (7)	6 (7)	5 (6)	9 (10)	(8)	7 (8)	6 (7)		
	12以下	9 (10)	8 (9)	7 (8)	5 (5)	9 (10)	7 (8)	6 (6)	6 (6)	5 (5)	8 (9)	7 (7)	6 (7)	5 (6)			12以下	9 (10)	8 (9)	7 (8)	5 (5)	9 (10)	7 (8)	6 (6)	6 (6)	5 (5)	(9)	7 (7)	6 (7)	5 (6)		
	15以下	8 (9)	7 (8)	6 (7)	4 (5)	8 (9)	6 (7)	5 (6)	5 (6)	4 (5)	7 (8)	6 (7)	5 (6)	4 (5)			15以下	8 (9)	7 (8)	6 (7)	4 (5)	8 (9)	6 (7)	5 (6)	5 (6)	4 (5)	7 (8)	6 (7)	5 (6)	4 (5)		
	19以下		7 (7)	6 (7)	4 (5)		6 (7)	5 (5)	5 (5)	4 (5)	6 (7)	6 (6)	4 (5)	4 (5)			19以下		7 (7)	6 (7)	4 (5)		6 (7)	5 (5)	5 (5)	4 (5)	6 (7)	6 (6)	4 (5)	4 (5)		
	23以下			5 (6)	4 (4)			4 (5)		4 (4)		5 (6)	4 (5)	4 (4)			23以下			5 (6)	4 (4)			4 (5)		4 (4)		5 (6)	4 (5)	4 (4)		
	25以下			5 (6)	3 (4)			4 (5)		3 (4)		5 (5)	4 (4)	3 (4)			25以下			5 (6)	3 (4)			4 (5)		3 (4)		5 (5)	4 (4)	3 (4)		
	(注) 1. 凡例 上 下段 2. 施工材	)書き	が生し	:<50で ごた場合	, 転石:						ータジ	エットも	を使用	する必要	T into		(注) 1. 凡例 上 下段( 2. 施工枚	)書き	: Nma が生	じた場合	, 転石						ータジ	エット	を使用す	- る必要		

工種名						現	ŕ	丁													改	5	È							j	適)	用	
バイブロハンマ エ	4) 電動式/	バイブロ	ハンマ	ヒウォー	ータジェ	ット併.	用施工	(100≦	Nmax≦	≦180)						4) 電動式バ	イブロ	ハンマと	ヒウォー	タジェ	ット併り	用施工	(100≦1	Nmax≦	≦180)								
				表3. 2	6 日当	り継施エ	枚(本)	数(N)	(陸上施	(工)	(1枚	(本) 当	6り1筐	前所継ぎ)					表3.20	6 日当	り継施エ	枚(本)	数(N)	(陸上旅	五)	(1枚	(本)	当り1	箇所継ぎ)				
	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	IIIw 型	IVw 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400		型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	Vi.型	Ⅱw型	Ⅲw 型	Ⅳw型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	0 H400				
	2以下	21	17	14	8	19	15	10	10	8	18	14	12	10		2以下	21	17	14	8	19	15	10	10	8	18	14	12	10				
	4以下	17	14	11	7	15	12	8	8	6	14	11	9	7		4以下	17	14	11	7	15	12	8	8	6	14	11	9	7				
	6以下	14	11	10	6	12	10	7	7	6	11	9	7	6		6以下	14	11	10	6	12	10	7	7	6	11	9	7					
	9以下	11 9	9	8	5 4	10	8	6 5	6 5	5 4	9	7	6 5	5 4		9以下	11	9	8	5	10	8	6	6	5	9	7	6					
	15以下	8	7	6	4	7	6	4	4	4	6	5	4	3		12以下	9	8	7	4	8	7	5	5	4	7	6	5					
	19以下		5	5	3	<u> </u>	5	4	4	3	6	5	3	3		15以下	8	7	6	4	7	6	4	4	4	6	5	4					
	23以下			4	3			3		3		4	3	2		19以下		5	5 4	3		5	3	4	3	6	5	3					
	25以下			4	3			3		3		3	3	2		25以下			4	3			3		3		3	3					
	(注) 施工枚(オ	(2) 数に	は,導材	オ(ガィ	イド)及	び敷鉄	板の施コ	L手間/	が含まれ	ている	0					(注)施工枚(本	( ) 坐分( )	/ナ 道:			アド車を全生	板の施っ		ジ会すと		,	1 ,	- 3	2				
				表3. 2	7 日当	り継施エ	枚(本)	数(N)	(水上施	<u>(</u> 王)	(1枚	(本) 当	当り 1 筐	前所継ぎ)		(12) //22/2 (1)	7 301-										r (木)	当り 1 1	箇所継ぎ)				
	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	Ⅲw 型	IVw型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400		型式	Ⅱ型	Ⅲ型	1			IIw型						H350					
	2以下	16	13	11	7	14	12	9	8	7		11	10	8		打込長(m) 2以下	16	10	1.1	7	1.4	10	9	8	7	14	11	10	8				
	4以下	13	11	10	6	12	10	7	7	6	11	9	8	7		4以下	16 13	13 11	11	6	14 12	12 10	7	7	6	11	9	10					
	6以下 9以下	11 9	9	8	5 5	10 9	8 7	- 6 - 5	6 5	5 5	9	8	7 5	5 5		6以下	11	9	8	5	10	8	6	6	5	9	8	7					
	12以下	8	7	6	4	7	6	5	5	4	7	6	4	4		9以下	9	8	7	5	9	7	5	5	5	8	7	5					
	15以下	7	6	5	4	6	5	4	4	3	6	5	4	3		12以下	8	7	6	4	7	6	5	5	4	7	6	4	4				
	19以下		5	5	3		5	4	4	3	5	4	3	2		15以下	7	6	5	4	6	5	4	4	3	6	5	4	3				
	23以下			4	3			3		3		3	3	2		19以下		5	5	3		5	4	4	3	5	4	3	2				
	25以下			3	2			2		2		3	3	2		23以下			4	3			3		3		3	3					
	(注) 施工枚(オ	(2) 数に	は,導材	オ(ガィ	イド) の	施工手	間が含す	まれてい	いる。							25以下			3	2			2		2		3	3	2				
																(注)施工枚(本	x) 数に	は,導材	材(ガイ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施工手	間が含さ	まれてい	<b>いる。</b>									

	現 行	改定	適 用
バイブロハンマ エ	表3. 28 日当り継施工枚(本)数(N) (陸上施工) (1枚(本)当り1箇所継ぎ)  表3. 28 日当り継施工枚(本)数(N) (陸上施工) (1枚(本)当り1箇所継ぎ)  型式 II型 III型 IV型 V型 II w型 II U II U	改 定    表3.28 日当り継施工枚(本)数(N) (陸上施工) (1枚(本)当り1箇所継ぎ)   型式   II型   III型   IIV型   IIw型   IIw型   IIV型   IIw型   IIW型   IIV型   IIw型   IIw   IIw	適用
	下段( )書き:Nmax<50で,転石等により,やむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する必要が生じた場合。	下段( )書き: Nmax<50で,転石等により,やむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する必要 が生じた場合。	

工種名						現		行												改	: 5	Ē							適	用
バイブロハンマ エ	6)油圧式	バイブロ	ハンマ								(1 +6	(+) \h	the state		6)油圧式/	ベイブロ	ハンマ								(1 +6	(+)	N to 4 666	(ac (ak +2)		
	型式	č		1		1			I		1	1	1	所継ぎ)	型式	ž		Τ	I	T	1		T		(1枚	1				
	打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	V.型	Ⅱw型	IIIw 型	IVw型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400	打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	IIw型	Ⅲw型	IVw型	! 10H 型	25H 2	텦 H250	H300	H350	H400		
	2以下	20	16	14	8		14	10	9	7		13	11		2以下	20	16		8	18	14	10	9	_	17	13		9		
	4以下	15	12	10	6		10	7	8	6	12	10	8	6	4以下	15	12	_	6	13	10	7	8	6	12	10		6		
	6以下 9以下	12 9	10	8	5		8	6	6 5	5	10 7	7	6	5	6以下 9以下	12 9	10	8	5 4	10	8 6	6 5	6 5	5 4	10 7	7	6	5 4		
	12以下	8	7	5	4	6	6 5	5 4	4	4	6	5	4	3	12以下	8	7	5	4	6	5	4	4	3	6	5	4	3		
	15以下	6	5	5	3		4	3	4	3	5	4	3	2	15以下	6	5	5	3	6	4	3	4	_	_	4		2		
	19以下	+	4	4	3		3	3	3	2		3	3	2	19以下	+ -	4	4	3	-	3	3	3	_	4	3	3	2		
	23以下			3	2			2		2		3	2	2	23以下			3	2			2		2		3	2	2		
	25以下			3	2			2		2		3	2	2	25以下			3	2			2		2		3	2	2		
	(注) 施工枚(ス	本) 数に	は,導	材(ガイ	(ド) 及	とび敷鉄	板の施	工手間左	が含まれ	いている	0.				(注) 施工枚(オ	*)数に	は,導	材 (ガ/	イド) 及	及び敷鎖	板の施	工手間	が含まれ	hてい.	る。					
				表3.3	1 日当	り継施コ	.枚(本)	数(N)	(水上施	王)	(1枚	(本) 当	当り 1 箇	所継ぎ)				表3.3	1 日当	り継施ニ	[枚(本)	数(N)	(水上)	拖工)	(1枚	(本)	当り1箇	所継ぎ)		
	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	V.型	Ⅱw型	IIIw 型	IVw 型	10H 型	25H 型	H250	H300	H350	H400	型式 打込長(m)	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	Ⅱw型	<b>Ⅲ</b> w型	IVw 型	! 10H 型	일 25H 型	型 H250	H300	H350	H400		
	2以下	15	12	11	7	14	11	8	8	6	13	11	9	8	2以下	15	12	11	7	14	11	8	8	6	13	11	9	8		
	4以下	12	10	9	6	11	9	7	7	5	10	8	7	6	4以下	12	10	9	6	11	9	7	7	5	10	8	7	6		
	6以下	10	8	7	5	9	7	5	5	5	8	7	5	5	6以下	10	8	7	5	9	7	5	5	5	8	7	5	5		
	9以下	8	7	6	4		6	5	5	4	7	5	4	4	9以下	8	7	6	4	7	6	5	5	4	7	5	4	4		
	12以下	6	5	5	3	_	5	4	4	3	6	5	3	3	12以下	6	5	5	3	6	5	4	4	3	6	5	3	3		
	15以下	6	5	4	3	5	4	3	4	3	4	4	3	2	15以下	6	5	4	3	5	4	3	4	3	4	4	3	2		
	19以下		4	3	2		3	2	3	2	3	3	3	2	19以下		4	3	2		3	2	3	2	3	3	3	2		
	25以下			3	2			2		2		3	2	2	25以下	+		3	2			2	1	2		3	2	2		
1	(注) 施工枚(2	k) *h/>	/十 道:		L	1#cT #	囲が金			2		0	2	2	(注) 施工枚(オ	<b>←\</b> ₩41~	1十二省			n#c = =	囲ぶ合		1 \ 7			3	4	2		

工種名	現 行	改定	適用
バイブロハンマエ	7) 鋼矢板、H形鋼1枚(本)当り箇所継施工箇所数による補正	7) 鋼矢板、H形鋼1枚 (本) 当り箇所継施工箇所数による補正	
	表3.32 補正係数(F)[銅矢板(H形鋼)1枚(本)当り2箇所以上継施工を行う場合]	表3.32 補正係数(F){鋼矢板(H形鋼)1枚(本)当り2箇所以上継施工を行う場合}	
	適 用 鋼矢板 Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, V <sub>L</sub> , Ⅱw, Ⅲw, Ⅳw, 10H, 25H	適 用 鋼矢板 Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ, Ⅱw, Ⅲw, Ⅳw, 10H, 25H	
	最 大 N 値 単独施工 ウォータジェット併用施工 ウォータジェット併用施工 (50≦Nmax<100) (100≦Nmax≦180)	最 大 N 値 単独施工 ウォータジェット併用施工 ウォータジェット併用施工 (50≦Nmax<100) (100≦Nmax≦180)	
	継施工箇所数         2箇所         3箇所         4箇所         5箇所         2箇所         3箇所         4箇所         5箇所         5箇所	継施工箇所数 2箇所 3箇所 4箇所 5箇所 2箇所 3箇所 4箇所 5箇所 2箇所 3箇所 4箇所 5箇所	
	補正係     陸上施工     0.63     0.46     0.37     0.30     0.70     0.54     0.44     0.38     0.74     0.60     0.50     0.43	横 正 孫	
	数 (F) 水上施工 0.67 0.51 0.41 0.34 0.72 0.57 0.48 0.41 0.67 0.65 0.45 0.65 0.45 0.45 0.76 0.62 0.53 0.46	数 (F) 水上施工 0.67 0.51 0.41 0.34 0.72 0.57 0.48 0.41 0.76 0.62 0.53 0.46	
	適 用 H形鋼 H250, H300, H350, H400	適 用 H形鋼 H250, H300, H350, H400	
	最 大 N 値 単 独 施 工	最 大 N 値 単 独 施 工 ウォータジェット併用施工 ウォータジェット併用施工 (Nmax < 50) (50≦Nmax < 100) (100≦Nmax ≦180)	
	継施工箇所数         2箇所         3箇所         4箇所         5箇所         2箇所         3箇所         4箇所         5箇所         50回         50回	継施工箇所数 2箇所 3箇所 4箇所 5箇所 2箇所 3箇所 4箇所 5箇所 2箇所 3箇所 4箇所 5箇所	
	輔 正 孫	補 正 係   韓上施工	
	数 (F) 水上施工 0.69 0.53 0.43 0.36 0.75 0.60 0.51 0.44 0.79 0.66 0.57 0.50	数 (F) 水上施工 0.69 0.53 0.43 0.36 0.75 0.60 0.51 0.44 0.79 0.66 0.57 0.50	
	(注)ウォータジェット併用施工における()書きは、Nmax<50の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータジェットを使用する必要が生じた場合。	(注) ウォータジェット併用施工における ( ) 書きは、Nmax<50の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用 ウォータジェットを使用する必要が生じた場合。	
	(3) 継施工費 継施工が必要な場合の費用は、別途計上する。	(3) 維施工費 継施工が必要な場合の費用は、別途計上する。	
	(4) 引抜き 鋼矢板, H形鋼の日当り引抜枚数及び本数 (N) は, 次表を標準とする。	(4) 引抜き 鋼矢板、H形鋼の日当り引抜枚数及び本数 (N) は、次表を標準とする。	
	表3.33 日当り施工枚(本)数(N) [枚(本)/日]	表3.33 日当り施工枚(本)数(N) [校(本)/日]	
	引 抜 長 (m) 2以下 4以下 6以下 9以下 12以下 15以下 19以下 23以下 25以下 陸上施工 91 78 68 58 50 43 38 33 30	引 抜 長 (m) 2以下 4以下 6以下 9以下 12以下 15以下 19以下 23以下 25以下	
	陸上施工     91     78     68     58     50     43     38     33     30       水上施工     50     46     42     38     34     31     28     25     24	陸上施工 91 78 68 58 50 43 38 33 30	
	<ul> <li>(注) 1. 上表は、広幅鋼矢板 (Ⅱw, Ⅲw, Ⅳw) 及びハット形鋼矢板 (10H, 25H) には適用しない。</li> <li>2. 鋼矢板・H形鋼を鉛直に吊上げた状態で鋼矢板等を切断する場合については、別途計上する。</li> </ul>	水上施工     50     46     42     38     34     31     28     25     24       (注) 1. 上表は、広幅鋼矢板(IIw, IIw, IVw)及びハット形鋼矢板(10H, 25H, 45H, 50H)には適用しない。     2. 鋼矢板・H形鋼を鉛直に吊上げた状態で鋼矢板等を切断する場合については、別途計上する。	
		上) 〇。	

工種名				現	行							改	定				遃	10 用	
バイブロハンマ エ	3-4 諸雑費 諸雑費は、溶接棒、導材(ガイド)質料、施工機械足場用の敷鉄板資料、電気溶接機損料、ウォータ ジェット併用施工用付属機器に関する経費(配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モータポ ンプ損料、水槽及び配管損料)、現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械 損料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。									施工用付 経費,電	属機器に関する	経費(配管バン 等の費用であり	ンド及び溶接 り, 労務費,様	棒,電気溶接	機損料,配管	損料,ウォータ 損料),現場内小 +額に下表の率を			
				表3.34	諸雑費率			(%)	表3.34 諸雜費率 (%)										
						諸雑費率								諸雑費率					
	施工区分	バイ	゚゚゚゚゚゙゙゙゚゚゙゚゙゙゚゚゙゚゙゙゙゚゚゙゚゙゚゙゚゚゙゚゙゚゙゚゚゙゚	継施コ	に無し	Ř	と施 工 有り	)	施工区分	バイ	イブロハンマ	継施二	工無 し	ŕ	継施 工有	b			
	旭工区分	規	格	普通·広幅 鋼矢板 H形鋼	ハット形 鋼矢板	普通・広幅 鋼矢板	ハット形 鋼矢板	H形鋼	旭 工 区 分	規	格	普通・広幅 鋼矢板 H形鋼	ハット形 鋼矢板	普通・広幅 鋼矢板	ハット形 鋼矢板	H形鋼			
		電動式	60kW	22 15	18 13	21 15	18 13	20 15		電動式	60kW	19 13	16 11	17 12	15 11	17 12			
	バイブロハンマ 単独施工・打込み		90kW	30 20	24 18	27 20	23 17	27 19	バイブロハンマ 単独施工・打込み	7	90kW	22 15	18 13	20 14	17 12	20 14			
		油圧式	224kW (235kW) (注) 2	2 2 22(26)	1 2 20(23)	2 2 21 (25)	2 2 19(22)	1 2 21 (25)		油圧式	235kW	1 1 18(22)	1 1 16 (19)	2 1 18(21)	2 1 16 (19)	1 1 17 (20)			
		電動式	60kW	21(20) (注)3	19(18) (注)3	20(19) (注)3	18(18) (注)3	20(19) (注)3		電動式	60kW	14(16) (注)2	13(15) (注)2	14(16) (注)2	13(15) (注)2	13 (15) (注) 2			
	ウォータジェット 併用施工・打込み		90kW	27(32) 25(24) (注)3	23(27) 22(21) (注)3	25(30) 24(23) (注)3	23(26) 21(21) (注)3	25(30) 24(23) (注)3	ウォータジェッ	h	90kW	20 (24) 15 (18) (注) 2	18(21) 14(16) (注)2	20(23) 15(18) (注)2	17(20) 14(16) (注)2	19 (22) 15 (17) (注) 2			
		油圧式	224kW (235kW) (注)3	8(8) 8(7)	7(8) 7(7)	8(9) 8(8)	8(8) 8(7)	8(8) 8(7)		油圧式	235kW	6(7) 5(5)	5 (6) 5 (5)	6(7) 5(6)	6(6) 5(5)	5(6) 5(5)			
		and and the		(注)3 19	(注)3	(注)3	(注)3	(注)3		mai -is	001 W	(注)2 18	(注)2	(注)2	(注)2	(注)2			
	引 抜 き	電動式	60kW	13 (注)4 0,1	_	_	_	_	引抜き	電動式	60kW	12 (注)3 0,2	_	_	_	_			
		油圧式	224kW	- (注)4	_	-	_	_		油圧式	235kW	- (注)3	_	_	_	_			
	3. ウォー むを得ず	上施工の ロハンマ タジェッ 杭打ち用		込みにおける トを使用する。	( ) 書きは, 必要が生じた:	, Nmax<50∅	場合で, 転石	等によりや	むを得ず	上施工の タジェッ 杭打ち用 の諸雑費 ジェット	場合 ト併用施工・打 ウォータジェッ 率は、広幅鋼矢	、トを使用する。 、	必要が生じたない。 ぶ必要な場合	場合に計上する	ేవ.				

工種名		現	行					改	定	!		適用
バイブロハンマ エ	4. 単 価 表 (1) バイブロハンマ施工によっ	る鋼矢板等の打込み又に	は引抜き	10枚(本)当	り単価表	 <b>価 表</b> バイブロハ		5鋼矢板等の打込み又	は引抜き	10枚(本)当	り単価表	
	名 称	規格	単位	数量	摘 要		名 称	規格	単位	数量	摘 要	
	土木一般世話名	Ľ.	人	$\frac{10}{N} \times 1$	表3.6,表3.8~表3.11, 表3.20~表3.23, 表3.32,表3.33	土木	一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表3.6,表3.8~表3.11,表3.20~表3.23,表3.32,表3.33	
	とびコ	-	"	$\frac{10}{N} \times \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix}$	n	٤	びエ		"	$\frac{10}{N} \times \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix}$	n	
	普通作業員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	n .	普 通	i 作 業 員		n	$\frac{10}{N} \times 1$	II .	
	溶 接 工	-	"	$\frac{10}{N} \times 2$	" (必要に応じて計上)	溶	接工		"	$\frac{10}{N} \times 2$	"(必要に応じて計上)	
	バイブロハン 杭 打 機 運 転		日	10 N	表3. 1~表3. 4, 表3. 8~表3. 11, 表3. 20~表3. 23, 表3. 32, 表3. 33 機械損料	バ イ 杭 打	ブロハンマ 、機運転		Ħ	10 N	表3. 1~表3. 4, 表3. 8~表3. 11, 表3. 20~表3. 23, 表3. 32, 表3. 33 機械損料	
	引 船 運 転	鋼製 D 200PS 型 15GT	<u>u</u>	10 N	表3.5 (必要に応じて計上) 表3.8~表3.11, 表3.20~表3.23, 表3.32、表3.33, 表3.32、表3.33	引	船運転	鋼製 D 200PS 型 15GT	덴 ,,	10 N	表3.5 (必要に応じて計上) 表3.8~表3.11, 表3.20~表3.23, 表3.32, 表3.33 機械指料	
	クレーン付台船	台船 300t 積 クローラクレーン 45~50t 吊	"	$\frac{10}{N}$	表3.5 (必要に応じて計上) 表3.8~表3.11, 表3.20~表3.23, 表3.32 <sub>14</sub> 表3.33	クレ運	ーン付台船転	台船 300t 積 クローラクレーン 45~50t 吊	"	10 N	表3.5(必要に応じて計上) 表3.8~表3.11, 表3.20~表3.23, 表3.32, 表3.33	
	矢 板 積 台 船 運 転		,,	10 N	機模項科 表3.5 (後妻に応じて計上) 表3.8~表3.11, 表3.20~表3.23, 表3.32, 表3.33, 機械損料		積台船運転		"	10 N	表3. 8 (必要に応じて訂正) 表3. 8~表3. 11 表3. 20~表3. 23, 表3. 32 表3. 33 機械損料	
	継施工費		箇所	10×X	(必要に応じて計上)	-	施工費		箇所	10×X	(必要に応じて計上)	
	諸雑費	P.	式	1	表3.34	諸	雑 費	1	式	1	表3.34	
	X:1枚(本)	正枚(本)数〔1 枚(4 当り継施工箇所数〔ê 形鋼(継施工あり)の	ケスタング	(本)]		2	X:1枚(本)	枚 (本) 教〔1 枚 (~ 当り継旋工箇所教〔f 影鋼(継施工あり)の	箇所/枚	(本)]		

工種名		<u></u>			改定							
バイブロハンマ	(2) バイブロハンマとウォータジ	ジェット併用施工	による鋼矢	板等の打込み1	.0枚(本)当り単価表	(2) バイコ	<sup>*</sup> ロハンマとウォータ	ジェット併用施工	による鋼矢	板等の打込み1	0枚(本)当り単価表	
	名 称	規格	単位	数量	摘 要		名 称	規格	単位	数量	摘 要	
	土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表3.6,表3.12~表3.19,表3.24~表3.31,表3.33		上 木 一 般 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表3.6, 表3.12~表3.19, 表3.24~表3.31, 表3.33	
	と び エ		,,	$\frac{10}{N} \times \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix}$	II .		と び エ		"	$\frac{10}{N} \times \begin{pmatrix} 2 \\ 3 \end{pmatrix}$	n n	
	普 通 作 業 員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	n .	-	普通作業員		"	10/N × 1	"	
	溶 接 工		n	$\frac{10}{N} \times \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \end{bmatrix}$	"		接 エ		"	$\frac{10}{N} \times \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \end{bmatrix}$	表3 1 表3 2 表3 4	
	バイブロハンマ 杭 打 機 運 転		日	$\frac{10}{N}$	表3.1,表3.2,表3.4, 表3.12~表3.19, 表3.24~表3.33 機械損料	Í	バイブロハンマ 亢 打 機 運 転		Ħ	$\frac{10}{N}$	表3.1,表3.2,表3.4,表3.12~表3.19,表3.24~表3.33 機械損料	
	杭 打 ち 用 1 ウォータジェット運転 3	14.7MPa 325 ℓ ∕min	"	$\frac{10}{N} \times \stackrel{\prime}{\Box}$	表3.1,表3.2, 表3.12~表3.19, 表3.24~表3.33 機械損料	1	亢 打 ち 用 フォータジェット運転	14.7MPa 325 ℓ ∕min	"	$\frac{10}{N}$ ×台	表3. 1,表3. 2,表3. 12~表3. 19,表3. 24~表3. 33 機械損料	
	引 船 運 転	鋼製 D 200PS 型 15GT	"	10 N	表3.5 (必要に応じて計上) 表3.12~表3.19, 表3.24~表3.33 機械損料	į	別 船 運 転	鋼製 D 200PS型	"	$\frac{10}{N}$	表3.5(必要に応じて計上) 表3.12~表3.19, 表3.24~表3.33 機械損料	
	クレーン付台船	台船 300t 積 クローラクレー: 45~50t 吊	· "	10 N	機械損料 表3.5 (必要に応じて計上) 表3.12~表3.19, 表3.24~表3.33 機械損料	į	クレーン付 台船車	台船 300t 積 クローラクレー: 45~50t 吊	· "	10 N	表3.5(必要に応じて計上) 表3.12~表3.19, 表3.24~表3.33 機械損料	
	矢板積台船運転 2	200t 積	"	10 N	表3.5 (必要に応じて計上) 表3.12~表3.19, 表3.24~表3.33 機械損料	3	天 板 積 台 船 運 転		"	10 N	表3.5(必要に応じて計上) 表3.12~表3.19, 表3.24~表3.33 機械損料	
	継 施 工 費		箇所	10×X	(必要に応じて計上)		迷施工費		箇所	10×X	(必要に応じて計上)	
	諸 雑 費		式	1	表3.34	Ē	者 雑 費 計		式	1	表3.34	
	(注) N:日当り施工枚 X:1枚当)離施 ()書き:H形 []書き:鋼矢/	工箇所数〔箇所 鋼(継施工有り〕 板(継施工有り)	/枚〕 の場合に	適用する。 適用する。			( ) 書き: H	施工箇所数〔箇所 形鋼(継施工有り) 矢板(継施工有り)	/枚〕 ) の場合に	適用する。 適用する。		
	名 称	規格	単位	数量	摘 要		名 称	規格	単位	数量	摘 要	
	矢 板 積 台 船 20		供用日	1.3	機械損料		长板積台船	200t 積	供用日	1. 3	機械損料	
	諸 雑 費		式	1		1111	者 雑 費 計		式	1		
	計											

工種名			現	行					改	定		適用
バイブロハンマ エ	(4)機械運転単価表(	陸上施工)					(4)機械運転単価表(	陸上施工)				
_	機械名	規格	適用単価表	指定事項	摘要		機械名	規格	適用単価表	指定事項	摘 要	
	バイブロハンマ杭 打 機	電動式・普通型 60kW, 90kW	機-20	運転労務教量→ 1.0 機料消費量→ 65 機 械 損 料1→バイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.3 セクローラクレーン (油圧駆動式・カインチ・ テスシブ型・排出ガス対策型 (機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3			バイブロハンマ杭 打 機	電動式・普通型 60kW, 90kW	機-20	運転労務数量→ 1.0 然料消費量→ 69 イディンシマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.3 機械損料2→クローラクレーン (油圧駆動式・ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型、機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3 は上野・大田ガス対策型・機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3 は上野・大田ガス対策型・機械損料数量→ 1.3 は上野・大田ガス対策型・機械損料数量→ 1.3 は上野・大田ガス対策型・機械損料数量→ 1.3 は上野・大田ガス対策型・機械損料数量→ 1.3 は上野・大田ガス対策型・	打込み引抜き	
	バイ ブロハン 被 杭 (ハット形鋼矢板用)	電動式・ 可変モーメント 型 60kW, 90kW	機-20	「機関性数量 1.3   連転労務数量 1.5   燃料消費量 65   65   (機械 損 料 1 ー バイブロハンマ(単体) 電動式・可変モーメント型 (機械 損料数量 1.3   90k   (機械 損料 2 ー クロー ラクレー (海圧駆動式ウインチ・ラテスンプ型・排出ガス対策型   機械損料数量 1.3   (場1) 株式 2 ・	打込み		バイブロハンマ 杭 (ハット形鋼矢板用)	電動式・ 可変モーメント 型 60kW, 90kW	機-20	連転労務数量→ 1.0  然料消費量→ 69 機械損料 計一 (9 プロハンマ(単体) 電動式・可変モーメント型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.3 機械損料 2 → クローラクレン (油圧駆動式・ウインチ・ ラチスジブ型・排出ガス対策型 機械損料数量→ 1.3	打込み	
	バイブロハンマ 杭 打 機	油圧式・ 可変超高周波型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 224kW	機-20	運転労務数量→ 1.0 機料消費量→465 機械損料1→ベイブロハンマ 油圧式・可変超高周波型 機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3 (第1次基準値)50~55t吊) 運転労務数量→ 1.0 燃料消費量→499 機械相料1→バイブロハンス	打込み		バイブ ロハン マ 杭 打 ン 機	油圧式・ 同変超ガニス 排出 (第2次基準値) 235kW	機-20	連転労務数量→ 1.0 燃料消費量→523 機械損料数量→ 1.3 地域損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3 地域損料数量→ 1.3 連転労務数量→ 1.3 運転労務数量→ 1.0 燃料消費量→570 / 12ハンラ 機械損料 1 中央 1.3 連転労務数量→ 1.3 連転労務数量→ 1.3 連転労務数量→ 1.3 連転労務数量→ 1.3 ・ 1.	打込み	
				機械損料数量→ 1.2 機械損料数量→ 1.2 機械損料2→ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第1)次基準値)25t吊) 機械損料数量→ 1.2	引抜き	抜き				機械損料数量→ 1.2 機械損料数量→ 1.2 機械損料2→ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第1次基準値)25t吊) 機械損料数量→ 1.2	引抜き	
	バイブロハンマ 杭 (ハット形鋼矢板用)	排出ガス対策型 (第2次基準値) 235kW	機-20	運転労務数量→ 1.0 燃料消費量→483 最初を対した。 機械損料1→がイプロハンマ 機械損料2→1.3 機械損料数量→ 1.3 機械損料2→クローラクレーン (対して)がです。 ガースがデーターが表現である。 ボースが変型・排出ガス対策型 (機械損料数量→ 1.3 機械損料数量→ 1.3	打込み		バイブロハンマ 杭 1 1 (ハット形鋼矢板用)	油圧式・ 可変超高周波型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 235kW	機-20	運転労務数量 - 1.0 機料消費量 - 523 機 械 損料 1 → メイブロハンマ 油圧式・可変超高周波型 機械損料数量 - 1.3 機 械 損 料 2 → カローラクレーン ・ 1.3 ・	打込み	
	杭 打 ち 用ウォータジェット	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第1次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量325 ℓ/min	機-24 n	燃料消費量→110 機械損料数量→ 1.3	打込み		杭 打 ち 用 ウォータジェット	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第1次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量325 ℓ/mi	機-24 n	燃料消費量→120 機械損料数量→ 1.3	打込み	

工種名	現 行	改定	適用
バイブロハンマ エ	(5)機械運転単価表(水上施工)	(5) 機械運転単価表(水上施工)	
	機 械 名 規 格 適用単価表 指定事項 摘 要	機 械 名 規 格 適用単価表 指定事項 摘 要	
	<ul><li>バイブロハンマ (電動式・普通型 (単 体) 60kW, 90kW</li><li>機-25 機械損料数量→ 1.3</li></ul>	バイブロハンマ (単 体) 60kW, 90kW 機一25 機械損料数量→ 1.3	
	<ul> <li>バイプロハンマ(単 体)(ハット形鋼矢板用)</li> <li>電動式・可変モーメント型 (機械損料数量→ 1.3</li> <li>機械損料数量→ 1.3</li> </ul>	<ul> <li>バイブロハンマ (単 体) (ハット形鋼矢板用)</li> <li>電動式・可変モーメント型 (60kW, 90kW</li> <li>機械損料数量→ 1.3</li> </ul>	
	油圧式・可変超高周波型 排出ガス対策型 (単 体) (第 1 次基準値) 224kW 機-24 燃料消費量→400 機械損料数量→ 1.3	バイブロハンマ 排出ガス対策型 (単 体) (第2 次基準値) 機-24 機械損料数量→ 1.3	
	バイブロハンマ (単 体) (ハット形鋼矢板用) 第2 次基準値) 235kW 機-24 燃料消費量→418 (機械損料数量→ 1.3	バイブロハンマ (単 体) (ハット形鋼矢板用) 235kW 油圧式・可変超高周波型 排出ガス対策型 (第 2 次 基準値) 機一24 機械損料数量→ 1.3	
	杭 打 ち 用 $(\hat{\mathbf{m}}_1)$ (第1次基準値) $(\hat{\mathbf{m}}_1)$ (第1次基準値) $(\hat{\mathbf{m}}_1)$ (第1次基準値) $(\hat{\mathbf{m}}_1)$ (第1次基準値) $(\hat{\mathbf{m}}_1)$ (機械損料数量→ 1.3 性対量325 $(\hat{\mathbf{m}}_1)$ (地対量325 $(\hat{\mathbf{m}}_1)$ (地対量325 $(\hat{\mathbf{m}}_1)$ (本)	杭 打 ち 用	
	$\phi$ ローラクレーン $\phi$ 45~50t 吊 $\phi$ 20 日 $\phi$ 20 日 $\phi$ 300t 積 $\phi$ 8	クローラクレーン 45~50t 吊 台船 300t 積	
	船   銅製 D 200PS 型 15GT   機	引 船 鋼製 D 200PS 型 15GT 機一11 機一11 機一11 (重加)機械損料数量→ 1.0 機械損料数量→ 1.0 機械損料数量→ 1.0 機械損料単位→供用日	